京城日報

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

時間表 [illegible]

十二月十日夕刊 （朝夕併せて八頁）

◇重要問題意見一致 聯合國打合會議

倫敦來電＝聯合國打合會議はロイド、ジョージ首相官邸に開會せられ英佛伊各國代表者は協商凝議する所ありたるが同會議に於て賠償問題、前獨帝處分問題其他最も重要なる各種の問題に關し各國代表者の意見一致を見たり（倫敦特電）

◇二問題延期可決

華盛頓來電＝米國上院は共和黨の提出に係る國際聯盟及び海洋自由問題の決定を講和談判終了の後迄延期すべしとの決議案を可決せり（東京特電）

◇我講和委員出發

牧野男以下講和委員一行は十日午前十時東京驛發列車にて横濱に赴き正午解纜の天洋丸にて渡歐の途に就けり（東京特電）

◇退位書伯林到着

瑞西來電＝獨逸皇帝退位に就き十二月六日附伯林電報に依れば十二月一日ウェニンゲンに於て署名せられたる前皇帝退位及び其他法律上の事由に依て其繼承すべき行爲を停止し確定的に拋棄すべき旨の退位書伯林に到著したる趣きなり（東京特電）

◇黑山國合併否認

半官的報道によれば黑山國政府はユクゾッナ黑山國民會議のニコラス法を廢止し黑山の塞爾維に合併するに決したりとの塞國側の報道を否認したり（巴里電報）

◇西班牙內閣成立

十二月五日ロマノネス內閣成立せり外務大臣は首相の兼任なり（マドリット電報）

◇アイスネル內閣の危機

巴里來電＝チュリッヒよりの報道に依れば巴威の獨立社會黨はアイスネル內閣を援助しつゝあるも民主黨、中央黨及び鐵道從業員は何れもアイスネル內閣に反抗しつゝあり最近同內閣の危機に瀕しつゝあるは此運動に基づくものなり（東京特電）

◇在獨聯合國捕虜 總數八十四萬五千人

十二月四日のタン紙に左の記事あり『獨逸にある聯合國俘虜の總數は八十四萬五千人內佛國人四十六萬四千人にて尙ほ之を地方別にする時はライン左岸十七萬南獨逸十萬中歐及び北獨五十七萬四千にてライン左岸にありし十七萬の捕虜は衛食を與へられずして放逐されたるが聯合軍はこれが給與に任じつゝあり（巴里電報）

◇日進以下君府著

海軍省公表＝我第二特務艦隊旗艦日進以下十二月六日土耳其國君府に到著したり（東京特電）

◇米國大藏卿任命

米國大藏卿は豫想通りカータークラス氏任ぜられ來る十六日に任ずる事と爲りたり（東京特電）

◇西伯利鐵道管理交涉 米國政府我政府に對し

米國政府は西伯利鐵道を手中に收むる爲め其管理權承諾方を日本政府に要求し來り目下兩當局にて折衝中なりとの報ありたり（倫敦電報）

◇支那貨物船建造

支那政府は三千二百萬弗を以て上海に於て八隻の裝甲貨物船建造の契約を爲せり（華盛頓電報）

◇陸特使病氣電照 ＝一部人士の疑惑＝

北京來電＝日本に到著せる陸徵祥氏は病氣と稱して東京に入らず一方章駐日公使は辭職を請ひ來りたるが政府は昨日（七日）章公使に對し陸氏の病氣に就き電照する所ありたり而して此間何等か伏在せる事情の存するに非ずやと一部にては疑惑を以て是を眺め且つ陸氏の講和使節に反對し來るべき南北平和會議に於て特使問題をも討議すべしとの議論を爲す者あり（東京特電）

◇派遣將卒御慰問

大皇陛下には寒氣の砌西伯利及び滿洲方面へ派遣中の第三、第七、第十二各師團の將卒御慰問旁狀況視察の爲め九日內山侍從武官長差遣の御沙汰あり同武官長は恩賜の葡萄酒菓其の他を奉持し近日出發す可し（東京特電）

◇總督御禮言上

長谷川總督は九日午前十時半參內大皇陛下に拜謁仰付けられ李王世子殿下御婚儀の件に就き御禮言上の後波多野宮相を訪問し明年の御婚儀に就き種々打合せを爲し同十一時退出せり（東京特電）

◇首相文相西下

原首相中橋文相は十一日午前八時半東京驛發西下伊勢大廟並に桃山御陵に參拜し十三日歸京の豫定なり（東京特電）

◇山梨選擧結果

內務省公表＝山梨縣補缺選擧の結果は穴水氏五千七百六十六票小林氏三千九百六十九票にて穴水氏當選せり（東京特電）

◇陸使節歷訪

陸支那講和使節は九日午前十時內田外相を官邸に訪問長時間會談し尙午後二時牧野男を私邸に訪問し尙首相官邸にも立寄りて敬意を表したる後急遽橫濱に歸れり（東京特電）

◇立博士出發延期 ＝病氣の爲め＝

講和委員牧野男一行と共に渡佛の豫定なりし東京帝國大學法科大學教授法學博士立作太郎氏は先般來流行性感冒に罹り療養中腹膜內の疾病併發し自邸に於て靜養しつゝありしが去る八日諸般打合せの爲め外務省に出頭の途次加藤耳鼻咽喉科病院に立寄り診察を受けしに入院治療を要すとの事に其儘入院

◎獨逸財界近狀

在倫敦森財務官より高橋大藏大臣宛來電左の如し（東京）

▲獨逸財界狀態 獨逸大藏當局者は戰時公債の破棄せざる事を會見者に斷言し戰時公債證書は租稅の支拂及び陸軍より原料品を買入るゝ際政府之を受領すべき事を約束せり租稅の逋脫及び財產の海外移轉を取締る法律徐々嚴重となれり大資本及び大所得並に戰時利得の課稅は近に重くすべき見込なるも新國民議會が新課法を決定する迄は何等具體的計畫を實行するを得ず新議會開會の時機未定なるも明年二月十六日頃との噂あり食物其他の材料の取締及び分配に關する組織は依然新政府の下に其任務を繼續しつゝあり

▲株式取引再開 獨逸株式取引所は其後種々紛糾を重ねたるも結局十一月十五日再開せられたり然れども取引は甚だ不活潑也取引所相場の公表禁止は未だ解除せられざるも近き將來に解除せらるべし

▲帝國銀行報告 帝國銀行總裁が中央金庫委員會に對し說明したる處に依れば自十一月一日至十一月二十三日の間に三十六億八千三百萬麻の紙幣銀行より發行せられたり前年同期間僅に三億九千七百萬麻四月より九月迄の發行高約四十億麻にして前同期に私立銀行紙幣及び緊急紙幣に依る流通貨幣の增加約十億麻なり總裁は現金死藏に關して國民に警告し十一月廿三日の獨逸帝國銀行週報に依り休戰條約第十九條に關し金準備は一億四千一百七十萬麻の減少を生じ二十三億八百五十九萬八千麻となれり因に倫敦新聞紙中には獨逸帝國銀行報告殊に其金準備に付いては全く虛僞なることを說くものあり

▲償金問題攻究 英國大藏大臣は十二月三日夜左の言明を爲したり政府は獨逸が幾何を賠償し得るかの問題を學術的に研究するの委員會を任命したり委員會は同問題の聯合各國間共同研究を提議し未委員會の取り得べき手段を決定したる時は之に必要なる手段を講ず可しと

▲軍事債券賣上 十一月第四週國民軍事債券銀行賣上高非常に減少し千六百八十三萬千磅なり然れども十二月一日より軍事公債利子五千萬磅支拂はれ政府及び英蘭銀行は右利子を以て國民軍事債券の買入を極力勸誘せるを以て本月第一週中の賣上は前週の激減を補ふ可しと豫期せらる

◎鮮銀券一億圓臺突破 米豆棉花資金の需要急

▼最近の鮮銀券 はその九日締切り十日現在の朝鮮銀行券發行高は之れを前月に比し約七十餘萬圓を增加し遂に一億圓臺を突破し一億零五十七萬圓の新記錄を示すに至れり歲末に至りて國庫方面の回收征日六七十萬圓あり旁資金の需要繁忙に伴ふ增發あるに拘らず久しく九千九百萬圓臺に留まりゐたる譯なるが此の兩三日來全羅北道産米の群山廻著激增し加ふるに全南棉花並に米豆の木浦出廻り目立ちて殖え來るあり更に各地共米價空前の昂騰にて持米

▼決濟資金 の需要滿洲方面に於る大豆資金の需要から地稅の收納額も遞增し回收又增加すべきが結局下旬に至らば一億一千萬圓內外の新記錄を作るに至らんと稱せらる

▼廻穀多し 東當業者曰く本年穀類廻著遲延の理由は感冒や天候の加減で收穫が二十日以上も例年に比し遲れたためである、然し天候は定まつたし年末にはなつたし加ふるに地稅の納期に際し米價は突然の珍値と云ふので此の三四日來群山方面の出穀は著しく殖ゑて來た獨り群山方面のみならず各地共資金の

▼需要激增 せりと稱して可なりだから廻米は一層に增加して年末の切迫と共に更に一層殖ゑて來るであらう、唯本年地方農民の一般の好い事は小作料を金納する者が多い點よりも見て知り得べく往年の如き投げ賣りをせぬ事は想像し得らるゝのである、又鮮人地主筋の先高思惑關係び米も地方では少くない、之等の關係より廻米殺到狀態は之れを迎へ得ないであらう、相當の出廻りは今まで出なかつた反動としてもなければならぬ

▼商人の思惑買 ひは多く見られない茲に米價の前途の波瀾を察知し得らるゝやうだ兎に角年末までに米價が幾分でも崩れるか又此硬調狀態を續けて行くかは內地米價の關係もあれど廻米の多少が大に與つて力があるのであ

東京便り

十二月七日 吐峰生

◇社會問題の重大なるは、夙に朝野の認識せる所なるが、近時の趨向は益注意を要する狀態に迫つて居る。既に八月の米騷動に於て民衆運動の危險且つ容易ならざるを經驗せる日本の識者は、社會問題の將來に對し特に深甚の考慮を廻らさなくてはならぬ。

◇社會問題にも種々の方面あれど、最も緊要なるものは國民の食料問題と、勞働者の賃銀問題と、失業者の就職問題との三つであらう。現に當地に於ては時局の影響に依り製造工業漸次不振を來し、中には工場閉鎖を行ふ所も少くない、休戰講和の迅速的展開は、時局目當の企業家、工業家に激甚の打擊を與へたからである。

◇其處で最も憂慮すべき調査に依ると、明年中には、東京に於て約十五萬、大阪に於て約十萬の勞働者が失職し、其他の各地に於ても夫れ〴〵之に準じて多數の失業者を出す虞があると云ふ事である、無論之れは少しく悲觀に失した謂ある事實である。

◇隨つて是等過剩勞働者を如何に始末するか、社會の重大問題である、若し之を自然の成行に放任せば賃銀の低落に次ぐに失業者の生活難を以てし、勢ひの趣く所終に由々敷椿事を惹起する事無きを保し難い。故に爲政者經世家は今日より過剩勞力の轉用方法を立策する事最も大切である。

◇一方國民の食料品如何と云ふに、米が毎年四五百萬石の不足を告ぐる事明白となり今日の米價騰貴は何等か有效にして徹底的の新策を樹立せざる限り之れが救濟の途無きに至つたのである。即ち一方に勞力の過剩、勞働者の失業あり、他方に米價の繼續的騰貴あらば、社會問題の將來は一層困難にも陰慘なる色彩を呈現せざるを得まいと思ふ。

◇然るに農商務省の調査に隨へば、日本の未開墾地は內地丈けでも二百萬町歩に達する計算である而して最近商工業の殷盛は、地方農村の青年を驅りて徒らに都會に集中せしめた傾きあるが故に全國の開墾事業は一層澁滯せる實を敢へて居る、故に此の際政府は思ひ切つて國民の歸農を奬勵し、徹底的の歸農政策を行ふがよろしいと思ふ。

◇記者は既に個人として右の政策を當局に進言したが、當局も亦至極賛同を表し、目下調査を進めつゝあるとの事である。即ち政府が歸農政策を實行した結果は、工業界の過剩勞力を之に轉用すると共に、都會地の社會問題に自然的解決を與へるし、又食料品の增産の結果、米以下の物價を低落せしめ、國民生活の基礎を安固ならしむに大に力ありと信ずるのである。

◇世に若し一擧兩得の經世策ありとせば、斯の如き立案を意味するであらうと思ふ。たゞ一口に歸農政策と云ふも其手段方法容易ならず、漫然之を唱道し勸說するのみでは實際の效果は疑はしい、先づ國有地の整理拂下、租稅の減免其他實際に効力ある幾多の獎勵政策を執らなければ決して意味を爲すまいと思ふ。

◇政府は必要なる追加豫算及び法律案を、今期議會に提出し、必ず上記の政策を確定せん事を要望する、否必ず之を實行せん事を信じて疑はない、而して此の政策が他日一轉して食料品管理の大策を案定し、再轉して土地國有の徹底的改革を圖る前提ならしめば、其意義殊に重大なるを信ずるものである。

◎團米山兩氏の支那視察談

三井而役團琢磨、米山梅吉の兩氏は十月東京を發し朝鮮より大連、奉天、青島、北京、漢口を視察し八日午前七時上海より長崎入航の郵船筑後丸にて上陸十一時廿分の列車にて歸京せるが最初團琢磨氏は語つて曰く五國の支那南北妥協勸告に對しては孫文氏等も好意を以て迎へ居れり元來南北統一に就ては不贊成の筈なきも支那の事情たるや兎に角捕捉し難く果して五國勸告が實際に效果を生ずるや甚だ疑問に屬すれども兎に角列國が一歩を進めたるは勿論なり

▲何人も異論なく 支那當局に對しても支那の識者は之を認め居れど國民一般の自覺はまだ十分に之れを實現し難き狀態にあり支那に於ける事業は直接日本に影響する所大なり假へば南滿の理法の如き從來の既得權すら十分に認められ居らず日本人の經營に從事する狀態にあり之等は左ろて外人の投資に俟たざる可らず特に日本の投資は東洋の隣接國として直接經濟上に重大なる關係を有し且つ支那自身よりするも外資の投下にして自國を開發するの利益を有し乍ら今尙十分理解を得ざるは遺憾千萬にて日支親善の意味に於て

▲支那國民の自覺 を促さゝるを得ず次に米山梅吉氏は曰く先般目賀田氏一行と渡來せる際石井ランシング兩氏協約に基き支那に於ける各種方面の觀察を必要とし今回初めて觀察の途に上りたるが殊に北京に於て十餘日間滯在して北京を理解するに努め徐總統以下各方面の人物に會見したるが兎もすれば支那に於ける米國の活動は邦人猜疑の目標となり居るも必ずしも然らず日米協定により支那經濟事情の問題は十分に兩國間に理解を有して居り米國投資の背後には日本ありて援助け等の策はなし且支那將來の經濟的發達に關し

▲必然改良すべき は幣制度にて金貨本位制度も近き將來には實質となるべく阪谷男の渡支も其際し居れるが何分各省に於て貨幣の價格を異にし不兌換紙幣發行の整理難に金貨本位を行ひ難き事情あり且支借款は前內閣の末より色々の問題を起し居たる模樣なるも日本としては決して支那借款を打切るものに非ず力の及ぶ限り契約するも差支なしと思ふ今回外務省に於て西伯利亞支那の借款につき調查主任官を置くのは何れにせよ必要の事と思ふ兎に角支那人も漸次向上して各鐵道の從業員も同國人增加し來りて活動し居れり（東特）

◎定例長官會議

十日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官局長等出席重要政務に就き凝議せり

◎京阪間二番線

遞信省にては明年度豫算に大阪釜山間の陸上線架設並に海底電信線の敷設をなすべく必要豫算を計上し居れるが右は京城大阪二番線たるものに付總督府遞信局にては同線の竣工に伴ひ釜山京城間に一線を架設する豫定なる由

◎仁川期米沸騰 十日新高値

十日本場の仁川期米は內地高移りに買氣旺盛を呈し中限寄附三十一圓三十錢止の三十一圓五十錢と新高値を作り先限は寄り附三十一圓十五錢高値三十一圓二十五錢止め三十一圓十九錢と殆んど天井知らずの沸騰を來せるが目先尙ほ强調を失はざる模樣なり

◎鮮銀理事等視察

鮮銀行理事片山繁雄同營業局長吉田節太郎營業課長井上正節の三氏は十日午前十一時發龍山に赴きスタンダード標準石油會社の工場並に煉炭ストックの狀態を視察せり

◎京電忘年會

京城電氣會社の京城記者團招待忘年會は九日夜花月に開かれ頗る盛會なりき

◎牧山代議士張宴

牧山代議士は議會開會期切迫せるを以て來る十五日頃東上の豫定なるが十二日夜在京城各社記者數十名を朝鮮ホテルに招待し晚餐會を催す可し

人事消息

▲井內勇氏（鮮銀調査局長）十四日朝發北行ハルビンへ
▲澤田信太郎氏（鮮銀理事）十四日朝發奉天に向ふ豫定
▲安達鐵久氏（釜山松田銀行部主）十日朝出發赴任
▲穗積貞六郎氏（鐵道局事務官）入營中の處十二三日頃除隊の筈
▲中野茂氏（鮮銀大邱支店長）同上
▲富田儀作氏（鎭南浦商議會頭）同上
▲竹內進氏（江原道技師）同上
▲三原新三氏（木浦稅關支署長）同上
▲赤峰省夫氏（咸南道事務官）十日朝入京前尾へ
▲赤尾鐵馬氏 十日朝出京
▲佐藤朝鮮無煙炭取締役 同上
▲毛利五郎男 十日朝安城へ

茶前酒後

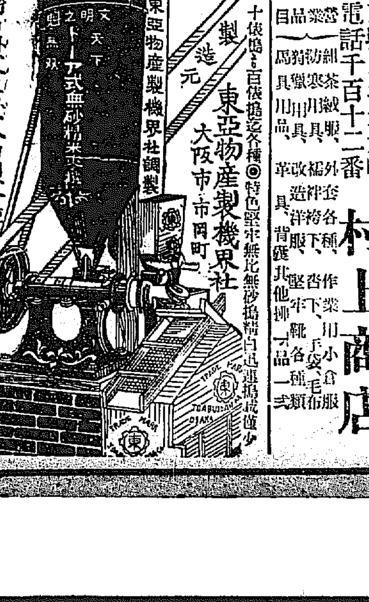
◆獨逸の極端過激派は、遂に露國過激派と通じ、漸次猖獗を極め、エベルト非戰運動者ら至らざる無く、盛んにプロパガンダ內閣に對し、其機の熟するを見て、一擧にクーデターを敢行せんとする形勢にあり、而も既に十萬の兵力を擁すと。獨逸はブレスト、リトウスク條約に於て、對露政策に成功せりと思ひきや、却て國境撤廢と共に、露國過激思想の侵入に便を與へたり。獨逸は將に第二の露國たらんとす、天の應報茲に報く、獨逸又何をか恨まんや。

◆獨逸に於ける大戰開始の責任は又候カイゼルに非ずと主張する者あり。獨逸に於ける事實の責任者は、時の宰相ベートマン、ホルウエッヒと外相ヤゴーとだと云ひ、而してカイゼルは諸城にありて、全然關知せずと云ふ今更カイゼルの責任論にも非ざるべし。

◆又曰くカイゼルが宣戰布告以前露軍は既に國境を越えたり、故に戰爭の責任は露國にありと云ふも當時伯林の新聞紙に、獨逸の大動員、將に宣戰布告を記載せしめ、大使館に駐獨露國大使を脅かし、大使の周章露本國に打電するを見て、遂に該記事を取消さしめ、斯くして露軍を誘致したる者は誰ぞ。之を以てするも尙ほ露國に責任ありと云ふを得るや。

◆マッケンゼンは羅馬尼よりの歸途、其麾下十七萬と共に匈牙利政府に抑留せられ、本國にては彼が首謀とするカイゼル復辟陰謀發露す。之れ獨逸軍閥の最期也、凋落の末路也。而も本陰謀に軍閥巨頭ヒンデンブルグの加擔せざりしは彼らも卻々の老猾也、遂に其終りを全うし得るか。

▲軍隊拂下被服類▼
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
營業品目 絨服、防寒具、狩獵用具、馬具用品、外套各種、袴下、作業用小倉服、手袋、毛布、改造洋服、背囊、堅牢靴各種、革具、其他一式

東亞物產製機界社調製


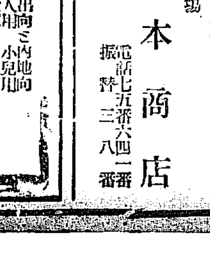
製造元 東亞物産製機界社 大阪市市岡町
十俵搗より百俵搗迄各種◎特色堅牢無比無砂搗精白迅速搗歩減少
動力掛、水車掛、人力用各種
代金は据付實驗後月賦割拂等の便法◎詳細は御照會次第說明書進呈す

謹告
例年の通り季節物潤澤に取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候
食料品問屋 京城南大門市場 辻本商店 電話七五番六四一番 振替三一八番

ゼネラルゲートル

ラシヤ製 皮製 メリヤス製 輸出向と內地向 婦人用 紳士用 小兒用
大阪市東區農人橋一丁目 谷町四丁目電車停留場へ入 ゼネラル 酒井清七 振替大阪一九一三五番

職業
手輕な奇麗な座敷で出來る日本館の製造は修得容易上手で誰でも利益を得る一時間の利用で迷ふ勿れ
職業案內書見本四錢代 大阪天滿橋筋二丁目 大阪中津町下三番 日本館本部

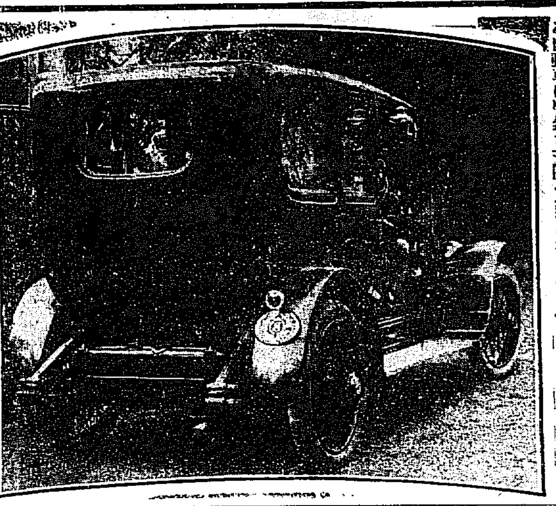
魔法瓶
御家庭に 御遠足に 御旅行に
これほど便利な物は御座いません どんなに熱くても どんなに冷くても 二十四時間は大丈夫保つと言ふ便利重寶なものです
◎市內は御通知次第御配達申上候

圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓
水筒形 三合入金貳圓三十錢 四合入金貳圓六十錢 送料 鮮內二十四錢 外四十五錢
京城府太平通り 合資會社京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

御進物は●本場みかんに限る
御贈答品は本年は品種各種取揃あり有りふれたるみかんと同一視する勿れ 三箱以上は卸賣値段にて迅速配達可仕候
京城南米倉町 內外果實青物委託販賣 乾物海產物雜穀 紀州柑橘 紀州柑園組合指定問屋 問屋 岩城商會 振替京城一〇〇六番 電話八四二番 大阪生命保險株式會社京城代理店

コールタール
京城電氣會社特約販賣 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

大正七年七月一日改正現行

◎梨本宮家より 綠濃き松の梢を渡る朝風は爽かに掃き淨められた庭に撒き水の跡も床しき中を梨本宮家よりの特使を乘せたる自動車は勢然と玄關へ（四日王世子邸にて）



□兩殿下、祝賀を受けらる 政務總監も御祝申上ぐ

八日東京に於て梨本宮殿下と李王世子殿下との間に御納采の御儀式ありたるに依り昌德宮李王及び同妃殿下並に德壽宮李太王殿下は九日午後二時より御親族並に朝鮮貴族よりの祝賀を受けられたり山縣政務總監は同日午後三時遠藤秘書官藤波通譯官を隨へ兩宮に伺候御祝を申上げたり

◎君民一體、擧一全收也 デモクラシーは民治主義と譯さるべし

◇尊むべき思想の種が日本には有る◇ 新任軍事參議官 八代大將談

新任軍事參議官八代大將曲中談に曰く『自分はデモクラシーを民主主義と譯してる人々の考へが進つてると信じ、民本主義とせるもの稍近く、更に▲民治主義とするを正解と信じ、それに關して特に唱へて見度いのである。自分は常に君國不二、君民一體、家國一致、忠孝一本、是一多相即也、事々無礙法界也、擧一全收也、正偏圓滿也。一多相即（一即多而無礙、多即一而圓通）を無上の敬訓と信じてゐるが、之れぞ即ち民治主義即ち當今流行言葉となつてるデモクラシーの正體であり我欽定憲法の御精神であると信じてる次第だ。即ち▲君と民と一體であることを信ずることに由つて憲法の活用あるべく、國民として始めて國民の意義を備ふる次第である。一を擧ぐれば全收といふことを信ずるによつて、國民各自に我れは即ち一國たりと自任し自重し國家の爲めに忠良なる民人たることが出來る。それを過つてデモクラシーなる語を何によつてか民主とし、別に客たるものを設けざるべからざる如くに考へしめたりして、純正哲學上に見るとき▲非論理的のものたらしめつつあるのであるがそれを悟らぬやうでは困る。自分は世界の潮流を漸々として押し寄せて來ると騷ぐ人のあるのを見て、我にそれを咀嚼し純正なる判別を下すべき思慮を養ふに足る尊むべき思想の種が、誰れが文にしたのか知らぬが、右の如く哲學的に論理的に立派に斷定されて殘つて居る以上、圓通無礙であると信じて疑はぬものである（大阪）

◎國體擁護に藉名するは……僭越だ 全國學生同盟會奮起す

嚢に吉野博士と浪人會の立會演說以來都下青年學生間に燃え上がつた浪人會に對する反感は其の後益猛烈となり今回終に全國學生同盟會の組織を見るに至りその第一着手として九日午後五時半より神田青年會館に大演說會を開き三百名の希望者中より選拔して三十名の辯士が熱辯を揮ふとになつたが其準備として七日夜神田錦町松本亭に立石氏外十數名の各專門學校代表者等が寄つて打合會を催し其主張するところは我國體は尊嚴もまりなきものであつて如何なる新思想が入つて來ようとも何等危險を感ずるものではない然るに浪人會が名を國體擁護に藉りて僭越なる言論をなすは反つて尊嚴を傷つくるの虞があるから此等の人々の蒙を啓き一面學說の權威を表現し思想界の輿論を明かにしたいといふのである（東京）

◎アンナ再び西伯利へ

[illegible]

◎安東縣近事 （門司電報）

■澤代議士來る 宮崎縣選出代議士澤來太郎氏は北京方面よりの歸途安東に來り一二泊の旨當地の南[illegible]たるが驛には森領事其他多數官民の送迎ありたり ▲特志婦人例會 赤十字社特志看[illegible]

[illegible]米安元寶館へ投宿七日は永原三井主任と六道溝視察し宮越奉天警務署長は七日午前着列車にて來安[illegible]

◎連絡船上陸客 八日

[illegible]額面一萬八千七百餘圓を紛失したる旨其の筋に屆出でたり

[illegible]

◎奉天城内の邦人殺害 ◎下手人は支那兵三人

七日午後五時五十分奉天城小西門裡邦人龍北今井蜂之助方へ奉天督軍旗下の混成二旅三團一營の上等兵高振東（四〇）同二營副目相文中（三〇）の二人を作なひて混成二旅三團二營韓記鳳（三二）なるもの首領となりて人手跡さを見すまし両換を賴むが如き風を裝ひて主人蜂之助が油斷せる隙を覗ひ◇兇刃を以て 腹部背部及び肩部に重傷を負はし死に至らしめ且つ蜂之助が第一番に腹部を衝かれ兇手に罹れるを悟り逸早く護身用拳銃を取出す隙を見て取り出しありし現金數百圓を掻つ浚ひ逃走したる珍事ありしが難なく我が官憲の爲め現場より二十餘間離れたる一飯店に主謀者韓記鳳が潜伏し居るを察知し捕押へられ日本領事館警察へ引致徹宵取調べの結果遂一自白したるより幇助者二名は逃走後所在不明にて未だ逮捕の運びに至らざるも七日午後二時支那官憲に引渡されたるが日本側赤塚總領事は◇犯人の逮捕方を迫ると共に一般邦人の生命財產の保護安定方に對し支那當局へ向け直ちに嚴重なる交渉を開始したりと因みに犯人是等軍人は昨年來張督軍が軍備擴張の一手段として盛んに馬賊團の投降を促したる結果投降したると同時に直ちに官兵と早變りしたる教育も訓練もなき極めて不逞の徒共にして近來屢々日支人共に不安の念にかられ居たる大小の窃盜强盜等は多分是等不逞の兵士共の所業にあらずやと日支官憲の着目する所となりたる由なり。

◎凌辱事件調査

赤塚總領事等の來長 七日午後五時奉天赤塚總領事、都督府石黑高等課長等來長過般の英國婦人凌辱事件に就き立會調査を遂げ九日朝歸奉の上交渉す可しと（長春特電）

◎フ氏の弔慰

目下滯京中なる瓜哇總督府學務局視學官フォークストラ氏は龍山元町小學校長鈴木志津衞氏の殉職に深く感謝し今回金二十圓を弔慰金として遺族に寄贈方本社に依賴せるにより募集中の弔慰及び遺族獎學金中に加ふる事とせり

◎愛婦慰勞會

愛國婦人會朝鮮本部にては十一月正午京城ホテルに於て去る九月以來龍山停車場出征部隊歡送迎に盡力したる役員會行志を招き報告と休戰祝賀を兼ね慰勞會を開催する由

◎都野川は死刑 忠信は懲役一年と罰金五十圓 ◎◎蘭商殺し判決言渡

◇忠信に迷つて犯した罪でないなら……

社會の耳目を聳動せしめた彼の蘭商殺し被告都野川義雄及び情婦忠信事今津りように對し十日午前十時十分京城地方法院刑事部大法廷に於て田中裁判長堀、鏡兩判事關部書記係りにて山澤檢事立會の上判決言渡があつた是より先傍聽席は此判決如何にと待ち受けたる傍聽者を以て埋められ被告義雄は羽織袴に手錠を箝められ▼編笠姿悄然と多數の巡査に護られて被告席に著くや同じく忠信は束髮に銘仙の袢纏を著流して女看守附添ひ入廷す聽て係判事着席と共に開廷を宣するや吉川康馬訴訟代理人より被告都野川義雄に對して一萬三千十九圓の扶養料及び慰藉金入院中に要する費用等の私訴を提起せり斯くて田中裁判長之れより▼判決を言渡す旨を宣し先づ被告義雄に向ひ『お前は此犯罪行爲が決して爨妓忠信に迷ひ犯したるものに非ず家計不如意より斯く犯罪行爲を敢てしたるものにて本件が家計不如意より犯したるものとして取扱はるゝに於ては死をも厭はずとの嘆願書を提出して居るが左樣取扱はるゝに於ては死刑も厭はないね』と念を押して左の如き判決ありたり、

判決

原籍 長崎縣東彼杵郡江上村指方免四千九百五十四番地
士族豫備少尉
住所 京畿道京城府旭町一丁目百九十九番地
旅人宿業 都野川義雄 明治十八年五月六日生
原籍 兵庫縣加古郡高砂町ノ内東宮町七十四番地平民
住所 京畿道京城府旭町三丁目紅屋事大宮貞次郎方藝妓
稼業忠信事 今津りよう 明治二十四年六月七日生

右兩名に對する强盜殺人强盜傷人殺人文書僞造行使贓物收受、贓物運搬、犯人隱避被告事件に付き朝鮮總督府檢事山澤佐一郎干與審理判決する左の如し

主文

被告都野川義雄を死刑に處す
被告今津りようを懲役一年及び罰金五拾圓に處す

但し右罰金を完納する事能はざる時は五十日間勞役場に留置す押收物件は第一號賣渡證書一通第二號委任狀一通は之を沒收し第五號十圓朝鮮銀行券中十六枚、第十一號十圓朝鮮銀行券中千三百枚及び第二十九號五圓日本銀行券四枚、第三十號十圓日本銀行券三十八枚、第三十一號百圓日本銀行券一枚は被害者に還付し第三十三號白布一枚、第三十四號染拔風呂敷一枚及び第二十八號十圓朝鮮銀行券三百八十枚は各其所有者に還付し其餘は各差出人に還付す

理由

被告義雄は大正六年十月頃より肩書所に於て旅人宿業を營み傍ら書肆及び森林伐採事業を經營し居たるも却つて多額の損失を醸したるのみならず大正七年三月頃より爨妓忠信事被告りようと馴染を重ね之に要したる遊興費の負債も亦尠からず折柄同年五月頃同女が被告▼義雄の胤を宿したりと聞き同女を落籍せんと焦慮したるも金策意の如くならず而も各所の債權者より日増しに嚴重なる督促を受くる事となりたるを以て是等の窮境を彌縫す可き手段を考慮中同年九月九日頃自宅に於て高等土地調査委員會臨時調査局技手と自稱せる永島義雄の名刺一葉を發見し斯る肩書ある人の氏名を騙るに於ては容易に他人の金員を騙取し得可しと思惟し之が實行の準備として京城府本町一丁目印刻業松村和久に依賴し永島と刻したる印顆一個を▼僞造して機會を窺ひ居たる所偶々京城府漢江通十一番地蘭商鳥飼武次郎の放漫なる取引振を聞知し居たるを以て同人を欺き金員を騙取せんとの念を起し同月十七日前記永島義雄の名を騙り武次郎に面見したるも同人の都合にて話半にして歸宅したる所偶然自宅に於て豫て義兄小鹿島儀より預かり居たる彈丸五發填充の短銃を見るや武次郎を始興驛より富川郡蘇萊面に至る僻靜の地に誘致し同所に於て▲拳銃を示し同人の所持金を强奪するに如かずと思料し翌十八日再び武次郎方に於て同人に面會し富川郡蘇萊面稍里金東鉉より籾三千百四十石を代金二萬六千圓にて買受くる事に契約したるも代金不足なきに因り其資金の供與せられ度き旨求めたる所武次郎は自己右代金二萬六千圓中一千圓を分配する可き約にて之を支拂ひ其利益を分配す可しと其資金の融通方に交付せよと▼要求したるに依り被告は永島義雄の氏名を冒用し同人の金東鉉より買付けたる籾を代金三萬一千圓にて賣渡す旨の賣渡證一通（領第一號）及び該籾の受取方を武次郎に委任する旨の委任狀一通（領第二號）を連續僞造し即時に之を一括して武次郎に交付行使し翌十九日金東鉉方に案內す可き旨を約し翌十九日竊かに前記拳銃を洋服の衣嚢に隱し午前九時四十分南大門發列車に乘込み龍山驛より同列車に搭乘したる武次郎と會合し車中に於て武次郎の爲めにより前示僞造文書二通に前示僞造印を押捺して各僞造を完成したる後始興驛にて下車するや意外にも武次郎には店員吉川康馬、金昌植の隨行者ありたる爲め▼目的を達し難きを知り一計を案出し武次郎に對し本日金昌植に籾を賣買す可き旨根なる者を案內すべき者ありとし始興驛に來着す可き旨を以て同人を留り置き金昌植を同驛に殘留せしめ自ら武次郎、康馬の兩人を案內して始興面西面下里の道高峴山の峠に至る途中休憩中被告義雄は到底斯る手段にては金員を奪取し難きを以て依り武次郎及び康馬の兩人を殺害し其機會を窺ひ居たる折柄武次郎と共に同人等が携帶保管せる現金二萬六千圓を强奪するに如かずと決意し康馬の隙に乘じ隱し持ちたる前記短銃を以て先づ康馬の背部を目蒐けて◎一發射擊し同人の倒るゝや次いで武次郎を目蒐けて四發を連射し三發命中して武次郎も亦其場に倒るゝや武次郎康馬の兩人が其の傍に置き共に保管せる現金二萬六千圓入りの金包二個を奪取して其の場を逃走したり而して武次郎に命中したる右一發は同人の胸腔より背部を貫通し[illegible]爲め同人は即死し康馬は爲めに右肩胛間部より第十一胸椎に達したる盲管銃創を負ひ脊髓神經に障害を起さしめ下半身の痲痺症狀を發するに至らしめたるものなり（二）▼被告りようは大正七年九月廿五日京城府停車場前高家旅館に於て被告義雄が武次郎より强奪せし金員なることを知りながら被告義雄より右贓金中の金五百六十圓を貰ひ受けて收受し尚犯意を繼續して同日同所に於て被告義雄より右贓金中一萬三千圓を京城府旭町一丁目百九十九番地被告宅に運搬すべき旨の依賴を受け之を受取り翌廿六日之れを携へて京城府本町飲食店江戶川に於て被告義雄の姪すか子に附し以て贓物の運搬を爲し（三）被告りようは同月廿五日富家旅館に於て被告義雄の犯罪事實を知りながら[illegible]を聞くや從僕たる雄より鳥飼武次郎を殺害せし一件▼恩顧に感じ義雄が逃亡せられんことを憂慮し同人に滿洲地方は內地人稀薄にして人目を惹くを以て却つて大阪又は東京に逃走する方安全なるべしと勸告し且義雄に對する官憲の搜查開始あるときは逃走先に『ヤマイワルシ』との電報を發送し然らざるときは『ヤマイヨシ』と送達すべき旨を約して同夜平壤より內地に向けて義雄を逃走せしめ以て犯人を隱秘したるものなり

法律に照すに…被告義雄の所爲中私文書僞造の點は刑法第百五十九條第一項第百五十五條に其行使の點は各同法第百六十一條第一項第百五十九條第一項に該當し右行使は一所爲なるを以て同法第五十四條第一項第十條に依り僞造の賣渡證行使の刑を重しとし右行使及び私文書僞造は手段結果の關係あるを以て同法第五十四條第一項第十條に依り重き僞造私文書の行使罪の刑に從ひ鳥飼武次郎を▲殺害したる點は同法第百九十九條に同人に對する强盜殺人の點は同法第二百四十條に該當し吉川康馬に對する殺人未遂の點は同法第百九十九條第二百三條に同人に對する强盜傷人の點は同法第二百四十條前段に該當し右殺人と强盜致死殺人未遂と强盜傷人とは一個の行爲にして二個の罪名に觸るゝものなるを以て同法第五十四條第一項第十條を適用して各重き殺人及び殺人未遂の刑に從ひ尚連續犯なるを以て同法第五十五條を適用して重き殺人の刑に從ひて死刑を選擇し殺人と僞造私文書の行使とは併合罪なるを以て同法第四十六條第一項を適用して懲役刑を科せずして殺人罪により▼死刑に處すべく被告りようの所爲中贓物收受の點は同法第二百五十六條第一項に贓物運搬の點は同法第二百五十六條第二項に該當し連續犯なるにより同法第五十五條を適用して贓物運搬罪に從ひ而して犯人隱避の點は同法第百三條に該當するを以て懲役刑を選擇し右二罪の併合罪たるに因り同法第四十七條第十條に依り重き贓物運搬罪の刑に併合罪の法定が重を爲したる刑の範圍に於て處斷すべきものとし罰金不完納の場合に於ける勞役場留置に付いては同法第十八條を適用し押收物件中第一號賣渡證書一通及び第二號委任狀は判示僞造文書行使罪を組成せる▼被告以外のものに屬せざる物件なるを以て同法第十九條に依り之を沒收し第五號十圓朝鮮銀行券中五十六枚及び第十一號十圓朝鮮銀行券中千三百枚並に第二十九號五圓日本銀行券四枚第三十號十圓日本銀行券三十八枚第三十一號百圓日本銀行券一枚は本件犯人の手に在る贓物なるを以て刑事訴訟法施行法第六十一條により被害者に還付し其他は沒收に係りたるを以て刑事訴訟法第二百二條を適用して第二十五號朝鮮銀行十圓券三枚は被告りように第二十八號十圓朝鮮銀行券二百三十枚は所有者北野武次郎に第三十三號白布一枚第三十四號染拔風呂敷一枚は所有者鳥飼啓次に各還付し此以外の物は各差出人に還付す可きものとす仍て▼主文の如く判決す

大正七年十二月十日
京城地方法院刑事部
裁判長朝鮮總督府判事 田中芳春
同 朝鮮總督府判事 堀 直喜
同 鏡 一以
書記 關部弘一

▽都野川は微かに蹌踉を見せた……

忠信聲をあげて泣く 右判決により『被告義雄を死刑に處す』の點に至るや流石の義雄も色を變へ入獄以來の腦神經衰弱が手傳つて死刑は覺悟せるものゝ微かに蹌踉を見せた爨妓忠信は入廷後絶へずシクシクと泣きながら總身の震へをさへ見せて居たが『被告今津りようを懲役一年罰金五十圓に處す』と聞くや聲を擧げて泣き入つた斯くして午前十一時判決は終つた因に義雄及びりようの兩名は多分控訴せず服罪するものゝ如しと

◎米艦『ブルクリン』沈沒 汽罐が爆發した爲め

◇…浦鹽を引揚げて橫濱碇泊中の椿事

橫濱碇泊中の軍艦ブルクリン號は九日午後一時卅五分汽罐爆發沈沒せりとの報あり（東京特電）

▼新司令官旗を掲げた許で此の椿事 右につき某海軍通は語つて曰く『ブルクリン』號は米國東洋艦隊の旗艦として是迄はナイト提督が乘つて居た排水噸數七千噸許、十二吋主砲四門を有する巡洋艦で本年二月浦鹽の風雲急を告ぐるや、帝國軍艦と相前後して金角灣に其の雄姿を現はした、爾來常に同港にあつて警備に任じて居たが今度ナイト提督がロジャース少將と交迭する事になつた結果浦鹽を拔錨して根據地馬尼拉に引揚げ更に我橫濱に迴航して來たのである、ナイト提督は六日同艦上に內外の紳士淑女數百名を招待して名殘りのレセプションを催した上七日を以てロジャース少將と交代した、即ちブルクリン號は新司令官旗を掲げたばかりで十日には根據地に向けて橫濱を拔錨する事になつて居たその前日この椿事が起つたのである

◎本町五丁目の火事

二棟燒失損害五千圓 十日午前零時五十五分京城本町五丁目五十五番地湯屋營業江頭竹一方より失火し火勢猛烈を極めたるが南大門、南山、黃金町の消防隊時を移さず馳付小熊警部、本町署當番直警部京城憲兵隊兵の活動督勵し水利至便なりしと深夜の爲め彌次馬の妨げなきにより全燒二棟二戶にして同一時半鎭火せり失火の原因は同家雇人鮮人が[illegible]

放言

世間を騷がせた蘭商殺し事件も先づ一段落ついた下手人義雄は檢事の求刑通りに死刑、義雄の情婦忠信は懲役一年罰金五十圓に減刑された。今日だから打明けるが右の當時次のやうな投書が檢事局に舞ひ込んだ。『都野川憎むべし、然れ共彼をして之を決行する策戰計劃を爲し且つ之を導きしものは實に毒婦忠信と情夫の丸尾源次郎なり丸尾が忠信に敎へ忠信が都野川に傳へたる故に三人は社會の爲め死罪に處すべし』投書の主は知らないが定めし係り檢事を驚かせたことであらう

◎黃金館割引

目下黃金館に上場中の舊劇（木曾の罪淵）は澤村四郎五郎一派が決死の覺悟を以て演出せる大冒險寫眞にて每夜破るゝが如き好評を博し居れるが十一日夜は割引券持參の本紙愛讀者に限り入場券割引の特典あり（割引券朝刊[illegible]）

つ鮮人敎員內地 學事視察團より（五）

[illegible]王寺にて奈良縣廳より高瀬氏を派し[illegible]案內をせしめられ候高瀬氏は本年二月頃迄京城櫻井小學校に奉職せし人なれば極めて好都合に候ひき畝火驛に下車し神武御陵に詣で申候東西南の三方を山峙ちて平野を開み北はるかに奈良の方に連なれり坦道南に指すこと一丘峙てりこれ即ち畝火山に御座候此間尚の如くに思はれて三千年の昔を彷彿せしめ建國の偉圖を思ひ神武の御成德を追仰せしめ御陵に額づき轉じて橿原神宮を拜し郡立の圖書館にて午食をなし郡長の歡迎を受け申候[illegible]の東南隅に古のあやけさりくれはさりの子孫連綿として繁栄し居れる[illegible]

[illegible]

天氣

天氣 後曇
十一日 [illegible]

訂正廣告
十日朝刊三ノ面本町貳丁目聯合景品大賣出し廣告中特等一本金千八圓とあるは金四拾圓勸業債券四枚の誤植ニ付茲ニ訂正仕候

謝類燒御見舞
京城本町五丁目四八
油井岱治

謝近火御見舞
京城本町四丁目六四
一富士 吉田己三郎
京城本町四丁目六五
深堀精肉店
電話二八七二番

謝近火御見舞
京城本町五丁目三六
共濟金融會

謝近火御見舞
京城本町五丁目四八
雜貨商 峯岸善太郎 電話一三六五番
本町五丁目 難波酒造場 電話一四六一番
本町五丁目四八 森 登一 電話一四二四番
同 淺川源一 電話一二三番
同 所 片村龜太郎
本町五丁目郵便所長 安田益太郎 電話一〇八〇番
理髮店 本町五丁目四九 野原留吉
本町五丁目四三 大生園
本町五丁目三六 杉田 律 電話六九七番
松屋事 末廣屋京染店 電話一五五五番
本町五丁目四〇 材木商 大谷支店 電話三四二番
本町五丁目三六 丸富酒店 電話一五〇八番

謝出火御見舞
昨夜失火の際は速かに御馳付け被下消防に御盡力を以て御陰を以て附近に火の及ぼし候事も無之全く各位の御援助に依るものと深く感謝仕候御見舞被下候各位に對し取敢へず紙上を以て御禮申上候
京城本町五丁目
清水湯 副島勝次

時計 眼鏡 寶石 貴金屬 製作 仁川 本町

…り、露國婦人浦田アンナは五日午後九時半夫茂氏と關釜連絡船に乘り下關經由渡鮮西伯利亞に向へり

…六十圓、香田巡査に二十圓、淺見巡査に十圓、傳巡捕に五圓を慰藉料として關東都督府より下賜したり

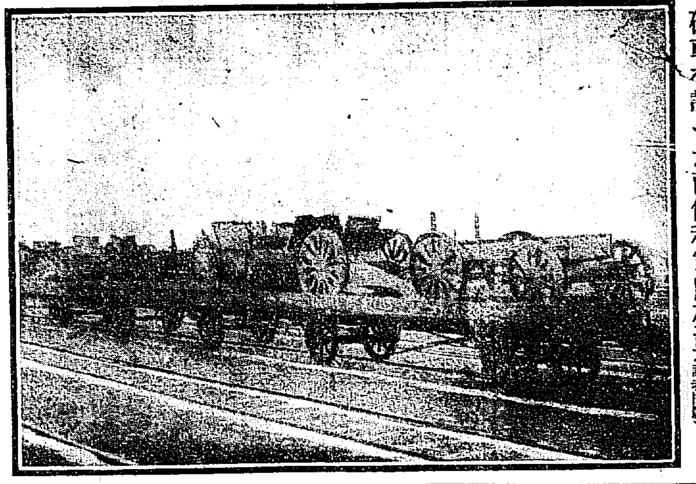
▲林前公使通過　前支那駐在公使林權助氏は既報の如く七日午前安東通過の急行列車にて內地へ向ひ

…例會を開催し餘興として筑前琵琶の演奏等あるべしと

▲公人私人來往　但一段氏は六日

▲證券約二萬圓　安東大和橋通り八丁目飯島秀亨氏は七日午前八時より十時までの間に於て有價證券

…濱田みき、吉崎良吉、水岡內文、同錦一、西川正男、關島迎一、田中準一、中島清新、山本…、相、立川榮吉、森宗興、阪上次良、岡在九、山田…、野口文一、石藤政治、梅村忠夫、手塚…、手島富文、松山元治、佐藤清吉、中野金助、梅野…、高良文松、紐田寬作、…松本ひさ、大坪みつよ、上別府良…、一、阿比留吉、前川勝利、…（二百五十五名）…正、森藤利資、金仁光、祖風祥、朴學俊、松浦共松外八二名（參考九十四名）



砲車を載せた西伯利軍用列車（金谷驛頭に記者撮影）

◆大連近事◆　大連支局發

市役所其他工事

大連大廣場ヤマトホテル右方に建築中なる大連市役所新築工事は既に外部の工事凡て完成し內部の造作裝飾等に取掛り明年三月頃全部竣成の筈なるが該建築は當初大連市役所として都督府の經費を以て建築起工せる處なりしが工事半にして竣工後は民政署廳舍に充用すべしとの事なりしかば市役所は元より一般市民は都督府が當初よりの期待に反むき竣工後民政署廳舍に用ふるとは甚だしく市民を愚弄せるものなりと爲し石本市長より市役所として工事を起しながら其經費及び其他の關係より一般市民は數回に亘り上京中の宮尾民政長官に文書及び電報を以て陳情したる結果此程に至り宮尾長官より市長の陳情を容れ該建築落成後之れを大連市役所として引渡す事となり其の條件として市役所は建物の一半を大連民政署に貸付する事となり兎に角市役所の面目を立つる事と爲したり市役所は建物の入口より左を用ひ民政署は其の右方を使用し會議室は共同にて使用する事に決定せり而して現民政署廳舍は市民が久しく不便を感じたる法院廳舍に充用せらるゝ筈なり即ち關東都督府旅順地方法院大連支廳と成べく法院が旅順より大連に移轉せんとせる議ありたるも經費其他の關係上俄に實行する事困難なる事情あるを以て當分民政署跡に支廳を開設する事となり明年度より直ちに施行さるゝ筈なり猶大連民政署庶務課司法部及び登記係は法院との關係上現廳舍に殘留する筈なり

怪火と保險問題

大連埠頭怪火に由り火災保險會社團より保險契約解除を受けたる埠頭構內野積貨物に對する保險復舊運動は其後保險團と商業會議所委員との間に屢次交涉打合せの結果漸次兩者の意見接近し野積場に區劃を設け火災防止を容易ならしむる事、保險料は百圓に付き七十五錢として九割の危險負擔として折合ふ事となり居れるが滿鐵にては野積場區劃制を採用する事となれば八間幅の空地を取れば四萬噸の野積地積を減ずるが上に更に保險團より一區劃內に三間道路を開き防火及び火災豫防を完全ならしむべしとの追加條件を申込みたるを以て之れを容るゝとすれば更に二十噸餘の地積を減じ目下保管場の狹隘に苦しみ居る折柄之等の條件は滿鐵及び荷主側の何れも苦痛とする處なりしが特產物出廻り盛期に入りては金融不能となり特產取引上埠頭野積貨物が無保險の狀態に在りては一大障碍を來す虞あるを以て荷主側及び滿鐵にては熟議の結果六日午後に至り遂に保險團の提出條件全部を容れ火災保險の復舊を見るに至り茲に數箇月に亘れる該問題も漸く解決を告げたるは滿洲特產取引に一轉機を與ふるに至るべし

滿鐵讀書會と講話

滿鐵讀書會にては東京帝國大學理科大學教授五島理學博士を招聘し來る十五日より二十日迄五日間毎日午後四時十分より『生物學と優生學』に就き講演會を開催し遺傳の根底と成るべき生物學の事理を究明し之れを人類に應用して好成績を擧ぐべき研究講話ある筈にて其題目左の如し

（第一講）動物の雌雄の數、大さ、形狀及色彩（第二講）動物の生殖、無性生殖と有性生殖の根本差異（第三講）動物の遺傳（第四講）形態及性質の遺傳、精神病、自殺狂、低能、犯罪性、聾啞、色盲、畸形（第五講）良質の遺傳及優生學

以上の如く五講にて性及び質の改良に就きて最も有益なる講話ある筈にて讀書會々員以外の聽講希望者は會費金一圓を添へ同會に申込むべしと

滿鐵本支線の收入

滿鐵會社十一月中の運輸收入は本線三百二十三萬五百八十圓安奉線三十七萬千六百二十八圓合計三百六十萬二千二百八圓にして內客車收入九十五萬五千五百四十九圓貨車收入二百四十一萬三千百十九圓倉庫收入十萬七千六百四十七圓雜收入十二萬六千九十二圓にして昨年の同月に比し四十一萬七千二百十四圓の增加なりと

市會常任委員會と戶別割

大連市會にては此の程常任委員會を開催し本年四月以降の新居住者に對し新規戶別割賦課を爲したるが市の膨脹に伴なひ新居住者頗る多く法人二十二件個人數百名にして戶別割總收入額五千餘圓の增收となりたり

滿鐵大正八年度豫算查定

滿鐵會社八年度豫算は各課所よりの要求書提出完了し目下會計課に於て整理調査中なるを以て來る十五六日頃重役會議に提出重役の查定を經る運びなりと

◎目を著けたる演習林の製炭

漸く炭價調節の新曙光　道當局の苦心

大邱では今日迄屢々炭價調節といふ聲だけは聞いてゐたが思はしい方法も浮ばなかつたと見えて何時も噂で畢つて了つてゐた、併し昨今の大邱の木炭の價格はといへば四貫目內外入りのものが一圓七八十錢といふ方外な値である、此の調子で行かうものなら夫こそ下級月給取りや中流以下の家庭では此冬は到底滿足に溫まりを採ることさへ覺束ない、然るに京城市中では昨今右と同等若くば同等以上のものが一圓廿錢位で得らるゝとの事である其處で段々其の產地を調べて見ると全北茂朱に於る北海道大學演習林の伐採製炭が京釜線永同を經て鐵道便で輸送されてゐることが知れたので先般慶北道當局から同所に交涉を試みて見た所が大邱方面へは輸送せずとの回答に接したので止むなく總督府當局に對し改めて交涉した結果去る六日此の返事があつたさうである、其の要領は總督府から全北道長官及び同地木炭商加藤商店に對し大邱方面にも配給すべき樣迄命し置きたれば道當局から更に前記大學演習林事務所に直接交涉すべしとの意味であつたさうであるが若しも其の方法解決が付いた曉は距離の點から云うても京城に比し遙に近距離にもあり勞其價格は京城の市價以下で得らるゝ事となる譯であるが兎に角是によつて大邱の木炭價格も下落の曙光を認めたといふものである（大邱）

◎奉天の金融　奉天の朝鮮銀行の報告によれば十一月中奉天の正金、正隆、滿洲商業、安東、鮮銀、東拓各銀行會社支店の取扱ひたる預金は一千百八十九萬二千二百八圓…二千六十五萬八千七百八十八圓三十一錢なりと

◎赤峰書記官へ記念品　咸南道事務官より賞勳局書記官に榮轉せる赤峰事務官は八日咸興出發赴任したるが咸興の官民有志は同氏に對し記念品を贈呈したり（咸興）

◎田舍は意外に景氣が好い

好きかたにも好くしたい　農民の懐ろが溫たかになり華美の風が流行りだした　平壤郡次席長　齋藤氏談

今年は米が例年に比して二三割乃至五割の增收ありと云ふ有樣で其上他の農作物が高價の爲に景氣は極めて好況である隨つて生活狀態も向上して現に何處の部落に行つても一市場で昨年は五百圓位の賣上が本年は七八百圓に達してゐる又田舍の

景氣を見る標準

ともすべき牛豚の屠殺數が市日に例年は二十頭位のところが本年は三十頭に達してゐる此等から見ても其の景氣の良いことが判る、感冒も漸く終熄を告けて今では罹病者は何處にも一人もない、尤も或る部落によつては隨分死亡者を出した處もあつたが又一人の死亡者をも出さなかつた部落もある總じて於ける衛生狀態は一般に進步して來た樣である

犯罪の狀況を見る

に是亦景氣が好い丈に例年に比べて遙に減少してゐる今のところ何等事もないのは結構だ之れは一面頭が進步して來たのにもよるであらう

火災は非常に減少

して本年九月以降に於て僅に一戶の燒失を見たばかりである元來朝鮮人の火災の原因は溫突の火を焚く場所にあるので焚口の處へ澤山松葉を積んで置いて而もソレを老人や小供が朝から晩までドン〳〵と焚くから其焚いてゐる內に散らがつてゐる松葉に火がついて遂に火災を起すと云ふ風で今年は之れを嚴重に取締まつて溫突の附近に柴置場を造らせソコから一々小出しにする樣にして絕對に松葉の散在を防いだから從來の樣な危險の虞は更にない

又一方に於ては

作所の改良を加へ灰捨場の設備を完全にした爲め之れ又從來の樣な失態を防止することが出來る此んな具合で昨年に比し七箇面を巡視した內で僅に一戶の火災を出しただけに止まつた兎に角現在の狀態では先づ火災の方も良成績である

其他家屋の改良

漸々行はれて少々資產を有するものは大抵家屋を改造してその設備を改めてゐる樣で又半面淸潔を心掛けてゆく樣である之れも急には行くまいが追々自覺して來れば段々改良せられて行くであらうその次には

働く時間の延長

であるが從來結氷期と夜間は遊ぶものだなどと云ふ考へを持つて居たのが此の頃ではそんな惰民も追々無くなつて夜も草鞋を作るとか繩を綯ふとか相當に夜業をやつてゐる是等も追々自覺して來たもので兎も角以上の樣な有樣で一般に景氣のよいのと總じて進步して來たことは喜ばしいことであるが其の半面に於て最も

憂ふべきは華美

の風が流行して來たことだ一寸金のある家の息子などは非常に贅澤になつて服裝なども一寸ハイカラな帽子を冠るやら靴を履くやら金廻りがよい丈に隨分華美な風が流行して來た樣である、自分は之に鬪して行く先々で訓戒を與へて來た（平壤）

老里長の發狂

妻子と孫を亡ひ　惡感冒の悲話

大同郡の茶院里と稱する一小部落に李某と稱する里長があつて此の家では去る十月の廿日から十一月の二十一日までの間に其里長の妻と長男と長男の嫁と孫と都合四人が感冒のために死亡して了つたので取殘された里長は悲觀の餘り遂に精神に異狀を來して今では所を彷徨つて譯の判らぬことを云ひ廻してゐるのは他の見る目も氣の毒で里民一同も大いに同情して色々と慰めてゐると云ふことである（大同）

猛烈を極めた惡性感冒も全く終熄した樣であるが一時は之が爲めに種々な悲劇や迷信沙汰があつたことは其都度報じたが茲に同情に値すべき悲慘な家庭がある、それは平南

◎模範農村を作りたる面長

平南大同郡栗里面新柳里甲長見明保氏は元栗里面の面長を勤めたることあり相當の資產を有し居れるが常に農事に熱心し嘗て模範農民として大同郡より表彰せられたることあり近來益々其功績著しく肥料改良其他養鷄養豚等に至るまで悉く郡當局の指示に從ひ率先して里民に範を示し本年畑を水田に開作せしもの實に五六町步に達せり、…共同井戶の水質不良にして里民の健康に妨害あるを憂ひ…設備を完全にし…一般里民には資金を…に應じて醵金せしめ總計四百八十圓中約四百圓を得たるを以て水質良好なる箇所に井戶の掘鑿を行ひ…其他諸設備は更に…着手すべく…住民の衛生…非常に…しつゝあれば同面は珍らしき模範農村となるに至れり（平壤）

◎噓の邯鄲師

◇原籍を僞て渡り歩く◇

山形市香町渡邊留藏（二三）こといふ噓は原籍を僞りて仙臺二十八町一七七と自稱し平壤附近を徘徊中去月七日頃…の本旅館に投宿し現金三十二圓及び…側俵中…一個を竊取し平壤に入り込み更に龍山に逃走し龍山…方に於て金二十圓七十錢を竊取し再び平壤に入り込み來りしを停車場取締に勤務中の宮原巡査に逮捕せられ目下取調べ中（平壤）

鐵嶺（二）　老禿生

老禿は前便開原通信に於て現在及び將來に生きつゝあるを第二にしたが今鐵嶺に來て見ると或は開原の反對現象を認められはせぬかと思ふ。是れは強ち老禿許りの見解ではあるまいと思ふ。が其の邊の事は後段に讓るとして先づ歷史に富んだ鐵嶺を第一に認知せねばならぬ

史上に於ける鐵嶺

鐵嶺は高句麗銅山縣の舊地で渤海國、遼東金國、元國、明國、淸國等の各代に稱こそ異なつてゐるが幾多の史蹟を有し鐵嶺と稱するに至つたのは明朝洪武二十六年である、爾來淸朝も此の地を以て要衝となし各種の施設等をなして居た、淸朝の末年其鼻茲次第に南下の勢ひ猛烈となつた、明治三十二年即ち光緒二十五年には早くも東淸線の延長となり東漸急にして方に薄弱となると共に一方露國の國に於て各方面の經營を開始したのであるが彼の日露戰爭の結果日露其位置を換へ明治三十九年日淸…開放によつて更に一步を進めて門戶開放機會均等主義に則りて今日に及んだのである。而して目下日本人の在住者二千數百人の多きを數へ支那人亦二萬餘人と稱せられ南滿洲の一大商業地である

地勢と鐵嶺の商勢

然り鐵嶺は一大商業地である、けれども鐵路一度南北に通ずるや從來の鐵嶺は漸次其の面影を變換しつゝある模樣である、元來鐵嶺は地勢上東は龍首山を初めとして遠く高原地帶を背ひ西南に開け其の北方には彼の遼河の支流たる柴河が繞り舟揖の便がある以前鐵道が敷設されないで專ら交通運輸の便を河流に仰いで居た時代は自から貨物の集散地となるのは勿論遙かに遼河によつて蒙古滿洲一帶の吞吐港たりし營口に相對して居たから當然の事であらねばならぬ、それが鐵道經營の步が進むにつれ從來殖著を見つゝありし特產物は其の取引先を多く大連に需めたと一は鐵道へ出す迄の便宜上多くは開原驛に變更した。其爲め開原は日に發展したのに反對に鐵嶺は大いに寂れたとか淋れるだらうとか云ふ聲を聞かぬではない、甚だしいのになると鐵嶺人士でさへも大いに悲觀してゐるさうであるが左程心配するにも當るまいと思ふ。

特產物二十萬噸

見よ鐵嶺に殖著する特產物を開原が旺盛になつたので多少の影響を受けたには相違ないが今日尚二十萬噸の殖著を見るのは豪氣ではないか、勿論長春の六十萬噸開原の四十五萬噸に比すれば二分の一乃至三分の一にしか當らないが南滿鐵道沿線中年額能く二十萬噸を集積し得るの驛果して幾何をか數ふる、此の點に於て鐵嶺人士は決して弱氣を起すに及ばぬのである

根帶深き商勢力

勿論鐵道開通の爲め滿洲蒙古の吞吐港たりし營口の繁榮が漸次大連に移動し來つた如く鐵嶺の繁榮は北方開原に奪はれつゝあるは何人も異議のない處ではあるが同地が古くから培養した根抵深き商勢力は決して一朝一夕に覆へす事は不可能である、殊に況んや因襲的を尙ぶ支那商人に於てをや更に況んや利に敏なる彼等に於てをや、即ち各方面に信用ある老舗に富める爲め新進の開原等にも商戰に於て據を有せる商人が多數を占めてゐると云ふではないか、又輸入品に對しては開原に入れるのと鐵嶺に入れるのとは稅率の差がある、而して其差は到底開原が企及するを得ぬ處であり且つ信用ある老舗が品物が揃ふと云ふ狀態だから此の輸入方面に對しては目下の處開原などは其の敵ではないのである、けれども滿鐵開鐵道が出來るとか或は稅率の改正を行ふとか云ふ事が出來れば或は如何だか逆睹する譯には行かないが其れまでには何ほ多少の時日を要する、其の間には鐵嶺は鐵嶺として地方の開發とか若しくは其の他の新しき經營方法とか案せられるに相違ない、左すれば如何に多く悲觀しても今以上に衰退步する事はあるまいと思ふ。要は鐵嶺人士の經營施設努力の如何に歸著するのである

◇安東縣より◇　一記者　安東支局

◇安東の商界は一に懸つて在荷の能否にあり、大豆然り、粟然り、木材然り、苟も輸送力が承知せねば泣いても喚いても致し方はなし

◇晚羨の金融界又輸送力と大關係を有するや論なし、貨車動かざれば資本は固定し、資本固定すれば回收に困難を觀る、茲に已むを得ざる事に關す又市の小賣業者の蒙る打擊も決して尠少にあらず

◇貨物の多くて困る安東と貨物の尠くて困る仁川と一方妥協して融通難を緩和するの妙策はなきものにや、某專門家に言はすれば、安東、仁川間の輸送力があれば必ずしも仁川を煩はすに及ばず、直ちに釜山に輸送し得べしと、去り乍ら安東と對仁川、對釜山の哩數を比較せば其の短縮し得る丈けそれ丈け輸送力を發揮し得るは必然也

◇定期の…改正が仁川商業會議所の運動の功に歸するや論なし、仁川の…輸送業者たるもの聞くが如くんば、鎮南浦、仁川の穀物の如きは自己の港を經由せずして却つて輸送難の鐵道便を辭するもの多しと云ふ

◇沿線の滯貨、輸送難の聲を聞くや既に久し、當路の幹部も定めて聞き辛き事なるべし、海港の利用は今日より急なるはなし、浦川活用を巧に行へば、我が安東港の滯貨五百車千車は自然に消散するに到るべし、然れども這は單に記者の机上の空論として一笑し去られれば夫迄なり

◇物は相談なり、武士は相見互ひなり商人は儲かる事は全力を傾注して進むべし、滯貨に苦しむ安東の商人と、貨物の少きに困る仁川の商人と、…の商人と同商の相…して一…談して見ては如何なるものにや、…が探れ且つ理由さへ…は…管理局の幹部も相當に…を堅捻るべし、電も角安東の死活問題なる事を忘るべからざる也

豫て各道各所に御依賴申上置候ひし鮮滿便覽編纂材料に就ては編輯締切の期日も相近き候故乍恐縮此際至急御送附の程御願申上候也

十二月七日

京城日報地方部

黑山白水

十一月中に於る大連花柳界の揚り高は四十三萬圓に上つた▲之が日支入合せて十萬足らずの街の一箇月間の遊興費であるから素敵だ▲前面目に働いて儲けた金ならば斯う使へる筈はない▲茲にも如何に或方面の者共が空氣の如く容易に金を得て居るかと云ふ消息の一面が覗はれる▲斯うした素晴らしい景氣の中に隨分慘目な階級が潛んでゐる▲各町の裏長屋の四疊半一室切りの借家で採暖の石炭にさへ窮し日本人としての體面を維持し得ない者も尠くない▲人道に反する行商や賭博でシコタマ儲け込む連中は花柳界にばかり注ぎ込まずに斯うした方面の救助を講じたらよからう▲小鑁捕底の爲め大連の電車では剩り錢の代りに切手を出す事に成つた▲但し切手では電車券を買ふ事は出來ない（大連）

演藝案內

本町二丁目 電話一〇五〇　壽館
▲各地大好評の英國軒ハレー一行 …

有樂館　早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（南部）二〇五番
▲大活劇『急行列車の救助』 ▲新喜劇『片われ月』 ▲人情劇『思はぬ緣』全五卷 …

黃金館　電話一二六六・一二六七
▲宿東劇『大秘密』 『木曾の黑猫』全六卷 『つゆ草』全四卷 …

浪花館　京城明治町 電話二六〇
▲浪花節大會 十二月十日より …

文樂座　本町五丁目 電話三三八
…

大正館　櫻井町 電話八七三
十二月六日より … 大滑稽チャプリン … 戰爭映畫『世界の平和』 …

會呂利新左衛門 …

自動車　運轉手技師販賣員となり收入莫大 東京市京橋區 東京自動車學校 大阪市西區市岡町 大阪講習所

各種帽子附屬品卸 大阪東區 樽本商店 電話東一二九一 振替大阪四一七三六

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店 愛國火災保險株式會社 大阪海上火災保險株式會社 つちやたび並ニいろはたび 朝鮮代理店 京城代理店 貿易雜貨商 ⌂ 藤富國太郎商店 京城本町三丁目 電話三〇八番 振替京城一七七八番

小說 貸本店新規開業希望の方は郵券四錢送らるれば目錄並に「確實に儲かる貸本店開業の手引」書送呈 大阪市南區三休橋谷南入 樋口隆文館

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 電話六一二番 院長 醫學士 村上龍藏

▲防寒帽子▼ 最新型本日入荷
甲、防寒中折帽子〔上六圓八十錢 下四圓六十錢〕
乙、防寒帽子〔金三圓九十錢〕
丙、日出防寒帽子〔自金七十錢 至金二圓卅錢〕
送料鮮內十二錢鮮外卅錢
御注意（御注文ハ必ズ名稱、大サ、色、御指示被下度候）（但シ甲乙ハ毛ノ眞黑ノミニ御座候）
京城太平通り 合資會社京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

猪肉新荷着 例年の通り猪肉賣出し仕候御値段は特に御相談可仕候 一貫目以上は御卸同樣に差上仕候 京城明治町二丁目 電話一〇四二番 精肉氷商 石田本店

イケダ小兒內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院一三四番 自宅三〇〇番）

優等清酒 菊 釀造元 福岡縣三井郡川村山 富安本店 發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話（一〇三九番）御賞味御願ひ

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千參百參拾萬圓 總預金 貳億七千萬圓 株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目 電話 一〇六一番・三一七番 振替貯金京城一一番 頭取 佐々木勇之助 支配人 竹村利三郎

痔疾專門 京城明治町二丁目（本町より入る中央） 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番 院長十二月中旬より出張豫定の處患者の都合に依り當分出張を延期す

(明治三十九年八月九日第三種郵便物認可)

商況

東京株式特電

十日前場	寄付	止め
東株	三二八、九〇	……
同新	一八四、四〇	一八七、五〇
商船	……	一七八、五〇
同新	……	一四四、五〇
郵船	一九九、一〇	……
同新	一〇二、八〇	……
東汽新	……	一五六、一〇
鐘紡	……	……
富士紡新	……	八八、四〇
寶田石油	……	……
横濱取引	……	……
新ハ製糖	……	……
北海炭坑	……	一〇五、一〇
日清新	……	……
同	一〇六、九〇	……

東京現株中値

東日	二一〇、〇〇
同新	一八〇、〇〇
朝鮮銀行	一五八、〇〇
同新	七三、五〇
南滿鐵道	一三九、〇〇
第一銀株	一〇六、〇〇
第二新株	六七、五〇
南滿製糖	三三、五〇
朝鮮製糖	二一、〇〇
帝國製粉	七三、〇〇
京城電氣	五八、八〇
朝鮮瓦斯	二二、〇〇
郵船	一九七、〇〇
同新	一〇三、〇〇
商船	一九六、〇〇
同新	一四三、〇〇
鐘紡	二五八、〇〇
同新	二三七、〇〇
東拓	七六、〇〇
朝鮮興業	……

東京期米特電

十日後場
寄付 三十七圓〇一錢
高値 三十七圓十一錢
安値 三十六圓八十一錢
止め 三十六圓八十一錢
▲十日前場休會

大阪株式特電

九日後場		止め
宇治川水	五〇、〇〇	……
京阪電鐵	[illegible]	……
東洋紡績	[illegible]	一六三、〇〇
合同紡績	[illegible]	……
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	……
東京株式	[illegible]	……
大阪株式	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十日前場 [illegible]

大阪期米特電

十日前場
十二月限 三四、六〇
一月限 ……
二月限 ……
四月限 ……
五月限 二九、四〇

兵庫期米同電

十日後場
寄付 三十六圓九十一錢
止め 三十七圓十錢
▲十日前場休會

下關期米特電

十日後場
寄付 三十六圓九十九錢
止め 三十七圓三十一錢
▲十日前場休會

雜報

	當限	中限	先限
寄付	毛、西	毛、空	毛、西
高値	毛、西	毛、夫	毛、西
安値	毛、〇	毛、夫	毛、三
止め	……	毛、西	毛、五

綿糸布小康

大阪 三品先限は前日より小甘にて先限二百九十四圓八十錢四錢三百四十六圓

綿布三銘先物十圓二十錢

氣配は依然品薄なるも前途に就ての成行き思はしからず[illegible]

●正米人氣沸騰 又々八九十錢 一圓近くの奔騰

正米は益々高氣配にて昨日より又々八九十錢がた奔騰し標準は日本種三十二圓二十錢在來種三十一圓七十錢見當に上げたるが原因は定期高と精米筋一部の買進み及び思惑買等のためにして賣物は相場現はれ居れるも細小廻り多からず荷主の先高見越等より賣先更に幾分の上押しは免がれ難きかとの觀測なり

●内地製粉浮動

四日期米崩落の影響にて辨天十二限一圓六十八錢まで下押したる製粉は賣方大手の追隊により五日辨天十二限四圓六十八錢同一限四圓六十一錢同三限四圓六十一[illegible]六歳の安値を示したるも期米の氣丈を移して辨天十二限六十七錢同二限七十五錢同三限八十錢まで買上げらる、に至れり然ども製粉市場は鼓舞（ママ）せずして戻りは當に[illegible]かる、擬合なるが何分多額の買持玉を有する買方某大手筋が其十一十二限物を二三限の先物に繋ぎつ、ある模樣なるに一般[illegible]氣筋も鼓買離み成るべき風情なれば目先或は相當の上進を見るやも測られざるべし而して五日の市況は辨天十二限高値四圓六十三錢安値六十一錢同一限高値七十三錢安値六十八錢同二限高値七十五錢安値六十六錢同三限七十五錢安値六十七錢同二十二高五千袋越にて六日は辨天十二限安値六十七錢同一限七十五錢同二限より七十二錢同三限七十五錢同三限七十七錢より八十錢同二限八十五錢にて十六萬一千袋の出來高を示したり

●酒精は強硬

アルコールは歐洲動亂勃發以來セルロイド染料人造絹糸石鹼工テル及び藥品染料アルコール飲料其他各種工業の需要著しく増加せるに反し供給は砂糖減收に基く原料糖蜜の減收並に蜜糖輸出の船舶は大部分軍用船に徵發せられたる爲め輸出の不足ふの關係に依り本年八月は現品の大拂底を來すに至り相場も一封度十一錢見當にありしもの が歐大戰終熄して四十錢乃至四十セ[illegible]唱への高値を呼ぶに至り殆ど四倍の暴騰となれるが其後九月下旬より十月に入りて船腹も稍御用船解除となりし爲め漸く順調に復したれば製品の出廻りも增加せるに至り一時三十錢乃至三十錢見當にて市價も[illegible]低落歩調なり一時は三十錢內外に下落せり而して今後の市況はアルコール供給に関係する酒精密輸出[illegible]

●支那棉氣迷

支那の白棉市況は紡績需要不振により[illegible]輸入商は非常に[illegible]十四圓七十錢方一齊に低落し[illegible]

●燐寸は軟化

燐寸は北滿及西伯利方面の輸出衰へざるも南洋印度方面よりの註文殆ど杜絶したるため軸木製造加工の低落につれ內地市況下落の報あり當地は當面高値に保合の約定あるも入荷に伴はゞ漸次軟化を見るべし

京城正米市場

定期高と一部精米筋の買進みにて氣配更に高く本日は玄米四百七十二叺最高三十一圓最低三十圓に出來せり其外西米三百四袋の內地圓十一圓三十錢千山十一圓八十錢叺八圓五十錢の手合せあり

京城正米は益々高氣配にて昨日より又々八九十錢[illegible]

●皮革類強調

內地皮革商況は船腹關係に依り皮革品は約定薄く輸出品は昨今大會社の製品供給にて此處當分[illegible]の如き內地製品は高値にて一般の皮革界は[illegible]

●牛皮出廻薄

牛皮は底値に近づきて出廻り少く各地商人の入荷出來ず當地は鮮ならずして高値を見せ居れり[illegible]品は一貫目九十五錢見當に上れり

下關桐塲

朝鮮米は底強し北後場は米高にて賣埋み[illegible]小豆は入物品にして本品は依然小弱[illegible]

●各地商況

○大邱米況 九日
▲正米保合 産地よりは相變らず少々の出廻あり本日は別に相場の變動すべき材料もなく保合
▲大豆も保合玄米も同樣保合なるも手持ち切迄には出來不申さず

釜山市場 九日

▲新米（保合） 出廻りは益々增加し相場に向ひつゝありて又內地よりも別段乘り出したる賣往文も入り來らずして昨日の市況は貳拾錢方の小落を見せしが今朝市場に於ては賣り物は多く買方は先安を氣構へて僅少なれば手放さず有樣にて買方は前日の如く安値付けにて買辨
▲古米（商事） 廢殺の如く賣り物薄く又賣望も乏しく至つて商內不振の有樣なるが今朝市場にて小口の取引ありたるが前米の氣配不揃なるも商內ありたるが今朝市場にて
▲新米（商事） 限先き當寄（？）十錢の如く賣方手に差迫りしことを買望み[illegible]

仁川正米

叺の入荷多きも期米高に連れ高く九十一三十錢見當にて商ひ行れ居れり正米入荷薄く引合け三十一圓二十錢見當の先物に相逐きで[illegible]

仁川期米

▲十日前場（上放下遊）

第一節各地入來客なるも前日東京大阪の新價格高を受けて買氣旺盛當市來中三十一圓二十錢より二十九錢高に寄付四十錢まで先三十一圓

先三十一圓二十八錢高

錢高に始め二十錢を突進せし押は買物現はれ二十錢に推し押しても買物多く再び二十八錢を反し大振戰を演じて十八錢

五十錢さ二十一圓

▲二節當限出來不申中四十錢先十九錢より二十錢を追りしも買物現はれ十三錢を押し七錢を返し高錢

上伸て二十二錢三錢を採

中仲更に二十五錢

▲第三節當限新米中四十錢先十九錢より二十錢を追りしも賣物現れ十三錢を押し七錢を返しけり

▲第四節當中出來不申先十五錢より一錢を追り〇七錢を押し買物現はれ二十錢を返し三錢引
▲第五節當限出來不申中三十一圓五十錢先十五錢より三錢を押し買物現はれ二十錢と返し十九錢

強硬

前場當限出來不申
▲中限〇三十一圓三十錢〇四十錢〇四十錢
▲先限〇三十一圓十五錢二十錢

▲五十錢

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 電話長 自宅 九〇三番 六〇一番 電報略號 キ

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長一六〇番

市場雜觀

咋大前場一節當二十七錢中三十一錢先三十三錢七錢十三錢二十錢十四錢二十九錢五錢三十三錢十錢先三十錢節三十錢節三十十節當三十七圓五十五錢中三十七錢十錢 三十五先三十七圓二十八錢の止め東京一節三十七圓〇九錢三節十四錢六節十一錢兵庫三節十七圓五十錢六節七十錢五十錢下の鋼三節三十七圓六十錢六節五十錢

九日後場 [illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金田商仲買店 仁川港濱町三丁目 電信略號マツ 振替三八一 電話長一〇〇 電話長一一九 ●前金御注文は紹介を不要 ●營業案內及電信略號表進呈

▲富地後場爆撥

昨前場保合に打止し新柄大阪兵庫の高報にて後場入氣一變せられ寄付五十錢さ伸へ中々三十一圓に寄付五十錢さ伸へ中々三十一圓四十五錢二十六錢高寄付田買ひにて〇五錢と大引先三十圓六十五錢と十六錢高に始め四錢三錢と緩み、しも困窘の買際に強面引立〇其他の買進にて七十錢より八十錢前高値を突破せん形勢なりしも賣派の防戰も目先利喰現れ七十三錢と押し四錢五錢に大混戰を演じたる氣先大阪後場寄三十七圓四十九錢の高移りにて益々買氣加り前に新規の買物にて軟派の防戰買りも消化せられ更に九十三錢と新高值に品進せしも高值は買方の手控ひて日先利喰ひにて八十錢さ緩みし押日は硬派の買狙ひにて八十七錢と返强硬の成行を示して後場散會せり引跡大阪後場一節三十七圓四十九錢二節四十八錢三節七十四錢一節二十五錢九錢二節二十九錢四節二十二錢五節三十八錢東京止め三十七圓二十錢兵庫三十八圓〇九錢止め
▲今朝天候晴天前日暴硬に打止めし氣先各地の正高の入電にて益々買氣加り先限三十一圓十五錢さ二十八錢高に寄り付き更に二十錢を突進せられしも利喰ひ新規の賣物現れ〇九錢を押したるも押目は出來新規の買物に旗米現れ二十錢を挑返し更に二十五錢を昂騰せるも高值は〇〇太現れ〇九錢を瓦落せしも押目は世〇三巴其他の買物にて二十錢と跳返し十九錢と强硬の成行を示して散會當限は出來ず中限三十一圓四十錢に寄付五十錢と前三圓に大引せり

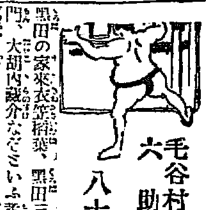
▲理想賣と大勢

歐洲戰亂の終局期と世界的物價低落時代と相俟て豐作相場を現はさればならぬ米價も諸物價に比して上げ後れし丈け却々頑強の形勢を有するのみか却て逆行高を演ずるは非常順序の上より諸物價の低落に比し其期の後る、又當然にして未だ其の買時機が尚早といふの外なし先月大阪の高見が四百萬圓の資金を投じて買叩き策事失敗に陥し遂に四百萬圓の資金を棒に振りし理は矛盾に走り過ぎし結果にて事實品が不足し現在に臨むで假令五萬十萬の出廻りを見る事は出來る爲的に大勢が左右する時期に向いて買ひ方針も擬ち出穀時期の上下を盡したるものは非しも之はいふまい只今日の處では內地供給不足でも見越し農家の食惜みに依るものにて早米は下らぬものと萬人が萬人信じたる其反動の反動は既に醸生されゆる時は下り坂の道程を早めつ、あるものと見るべく左れば食惜んだ農家の從て居る時代は賣り買りにより大勢の轉換する時も刻々に迫りつゝあるものと認識する事を得べし

仁川米豆取引所 十日の二月限

	寄付	高値	安値	止め	出來高
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

平均値段		
一節	三十一圓十五錢	[illegible]
二節	三十一圓二十錢	[illegible]
三節	三十一圓二十六錢	[illegible]
四節	三十一圓十八錢	[illegible]
五節	三十一圓十一錢	[illegible]
九日後場	三〇、六〇	前日との比較



毛谷村六助 廿六番角力 八十四席

桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

黒田の家來衣笠采女、黒田三左衞門、大胡内藏介などといふ者が、待遇の役でございますから入り代り立代り『サア一獻召上つて下さい』稻『イヤ手前は酒は頂戴いたさぬ』『御酒を召上らなければお菓子を召上つてお茶を一ッ』稻『お菓子は』『何うも胃病でな、甘い物は頂戴いたしません』稻『お茶も頂戴いたしません』段々に侑めたが見もしない、其内に段々刻限が延びて參りまするこ、懐中から燒飯なぞを出してムシャ〳〵喰つて居る、然うかと思ふと水筒を出して水なぞを飲んで居る、黒田三左衞門、大胡内藏介を初め宗石安藝守の家來、傳法寺兵庫から吩咐つて來たのだ、然し阿片剤の痺れ藥を入れた酒を飲ませなければ我々共役目が立たん、けれども水一滴酒一口も飲まない』コソ〳〵話しをいたして居る處へ長袴を着用して當日お執持の役仰付けられたる後藤又兵衞基次が出て來た『何うした』三『イヤ岐非谷の家來、酒も飲まん、茶も喫ない、菓子なぞは手も附けない、幾ら我々共が侑めてもトンと應じない』又『ウム、それは困つたな、應じないと云つても、モー程よく事を起さうこいふのだ、彼等が生て居ては大きに不都合だ、拙者一ッ酒を侑めて見よう』三『呼けない〳〵』後『藤、貴公が云つても飲まない』又『侑めても飲まなければそれ迄』後藤又兵衞笑ひながら入つて來た『エ、是は何誰かと存じたら木其藏殿』其『是は〳〵後藤氏でござるか』又『イヤ貴公の父湯本五郎左衞門殿とは戰場にて出逢つた時、斯く申する後藤又兵衞基次、一騎討をいたしてい、幸ひにして其許の父を斃したが、左樣な事はお忘れになさらんで、今日は快く召上つて下さるやう』其『左樣な事は決して遺恨に思うて居る次第でない、御待遇ではあるが我々共一切御酒は頂戴しない』又『ハ、ア御禁酒かな』其『禁盃こいふ譯ではない、愼んで居る』又『ハ、ア、それではお茶は如何で』其『お茶も頂戴いたさん』又『菓子は如何で』其『菓子いゝ物を喰ると胸が痛んで……』後藤又兵衞が種々侑めたが、岐非谷の家來は菓子一ッ喰ない、又兵衞大鄭の樣子を見て居たが又『ハ、ア、成程、相判つた、各々方は未だ疑ひが晴れないな』〇『何を』又『何をではない、一度は敵こなるも今日に至り安藝守も當城へお出になり、御待遇を仰付られたる我々共、斯くお侑め申すのに、菓子一ッ召上らんのは、敵地へ參つたこいふので、各々方は主人官兵衞や御子息の吉兵衞長政に二心ありこいふ思召し、イヤサ此酒の中に阿片剤の痺藥でも入つて居るかこの思召しでござらう、それは情ない、既に御當家より八重姫殿もお輿入になり、當時は友千代丸殿こ仰られる若君まで擧けたる間柄、左樣お疑ひが深くては此の上お交りをする譯にもならん、又お執持の我々、各々方が膳部へお手をお附けにならんこ云へば、主人初め重役へ何こ申譯をする事も出來ん、見れば、各々方が左樣にお疑ひになる所からではあるが、此儘膳部を下げたならば、各方は愈々お疑ひが深くなり、さア我々共へ罠の入つて居るものを侑める、だによつて、黒田の家來は膳を下げたこでも云はれて、遂には和解の破れまするやうな基こも相成る、御一統の前で又兵衞が毒味をして、その上品を下げるでござらう』〇『左樣、後藤氏の御立腹になつては困る』又『イヤ然うでない、各々方に疑ぐられるこ我々共役目こして默つては此の膳部を下げる譯にならん、甚だ恐れ入つたがお酌をして貰ひたい』後藤又兵衞盃を擧げた樣子、安藝守の家來も已むを得ずお酌をした、けれども腹の中では何に依ゐるものかこ思つて居る。

○新義州雜俎

■結氷期の出帆 平安北道新義州江口は數日前より結氷したる爲め中村造船所第一第二大安丸は木材を滿載したる儘川に近頃進水したる新造帆船第一號出帆不能となりしが大潮と溫氣の爲解氷し無事出帆六日大連へ向へり
■非常度量衡檢查 新義州警察署にては歳晩のドサクサ紛れに乘じて不正商人あるを慮り六日四個所に臨時關所を設け往文品持參を待ち受け實地の檢査を執行せり其成績は追つて報道する處あるべし
■金塊密輸露顯 京義道生金密輸（ロ）は金塊十匁を携帶して新義州にて下車し內五匁を安東に密輸入して賣却し殘り五匁を再び新義州に持ち歸らんとする處を鐵橋上に於て稅關吏に發見せられて御用となる

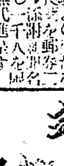
牛乳 院病產婦・兒育・師醫成館 用御 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

■公人私人來往 萬國親睦協會員米國人ツイン氏は六日來新ホテルに一泊翌朝京城方面へ向へり 平安北道學務主任吉永貞氏は六日嶺美及び陣川小學校落成式に臨席の爲め出張せり
■丸錦窃盗逮捕 當地朝鮮製紙株式會社工場より丸錦を窃取したる犯人は滿州署の苦心により元同社の日立工當時梅ケ枝町菊地久五郎なる事判明直ちに逮捕、安東加藤某は贜物故買として是又檢擧せられたり
〇奉天の大丸旅館 奉天驛前に建築中なりし大丸旅館は此の程工事愈竣成し內容亦悉く整頓したるを以て去る五日より開業せり

十二月十一日 舊十一月十日 ▲乙巳 ▲三碧 天上 ▲暗劍東 ▲吉方[illegible]

▲一白▼ [illegible]
▲二黒▼ 障りしき日なり
▲三碧● 物ごとに初つみなきむべし
▲四綠▽ ことなすもよろし
▲五黄▼ しきこゝあゐ日なり
▲六白● はわこころある日なり
▲七赤▼ こ暮らすべき日なり
▲八白● する日なり
▲九紫● くべき日なり

例年の通り忘年會新年宴會は特に大勉强仕候御用命仰付被下度候 京城本町二丁目 會席御料理 梅の家 電話長七三四番


中風病きちう 記入照會の方に詳報し（ママ）[illegible]良験よて其祖父及び父母の三人も同病にて困難したる遺傳系統に其[illegible]を郵送す 兵庫縣明石中崎町 加古忠兵衛

新たに開業の御方又自轉車御營業の方へ（意匠登錄）
江戸の花出納式 創業明治卅貳年
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車御商部 杉野商店 東京神田末廣町 電話下谷八三一一番 振替東京四八七七番 郵便私書函神田局四拾番 C.A. "DAIMILLION" TOKYO

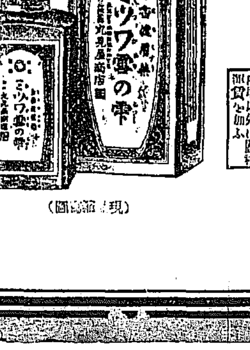
MITSUWA YUKINO SHIZUKU.
(Eau de neige)
Skin tonic, strengthening and beautifying the skin. Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small, muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. If Mitsuwa Yukino Shizuku is applied every day, the skin will not be harmed by the sun and the complexion will be bettered.
Price ¥ .40

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥。
○ミツワ雪の雫（みつわ・ゆきのしづく）

主治 皮膚を强健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脫、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳暈の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、鱗屑疹、粃糠疹、苔蘚、白癬に効奏す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、常に之を用ふれば肌膚に害ある黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚の硬くなつたのを溶かして肌膚を柔軟に滑澤になし
▲肌膚から出る脂肪を除いて清潔になし、肌膚を緊めて緻密になし即ち肌理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し、肌膚を包み擁つて外から來る刺戟を緩げ
▲肌膚の乾燥を治し皹裂などを防ぎ、黴菌や塵埃の入込むのを止め、肌膚の營養を旺盛にして、健康な肌膚の新しく出來ることを促すから、前に擧げてある諸種の皮膚病に良く効き、肌膚を健强く清潔にするのであります。又
▲白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹼で洗つてから、之を擦込むやうに塗り、暫く經てから湯水で堅く擰つて手拭で抑へるやうに輕く拭取り、それから白粉を塗るこのりものびもよく、生々とした化粧が出來る肌膚になります。

◆肌膚を整へる藥液
美しい上にも美しく化粧するのは誰しも望むことですが唯紅や白粉を塗たいけでは其の美は得られません、何でも土臺が肝腎ですが化粧も同樣に、平素から土臺の肌膚を整へるのが大切で、理想化粧の秘訣は肌膚を整へることであります、それには肌膚を清潔にし大切に、肌膚を傷はぬやうにするので、毎朝の洗顔、日々の化粧の都度、品質が良くて刺戟が無く日本人の肌膚に適つてゐるミツワ石鹼を使ふことに就定めて、肌膚の汚垢を落としてから、芳香健膚藥のミツワ雪の雫を顔に滴らし之を顔、頸又手に擦込むやうに塗り、暫く經てから湯水で堅く擰つた清潔な手拭で、吸込まれない餘分の藥液を輕く拭取ると、肌膚が整へられ、清潔に成り、肌理は細かく色澤は麗しくなり、小皺も防ぎます。而して白粉を塗ればのりものびもよく、生々とした化粧が出來ます。それ故美しい上にも美しくなるには、常に土臺の肌膚を整へるやう、ミツワ雪の雫を缺かさず用ひる事が最も肝要であります。



（現品寫圖）
定價 金四拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

高貴御用 新流行化粧料
年末年始の御贈答には 進物函が
一番立派で一番德用!!
（銘出し桐函入）
金三圓（十四種入） 金一圓五十錢（八種入） 金一圓（五種入） 金七十錢（三種入）
市內は三越白木屋松坂屋松屋等の大吳服店小間物化粧品店にあり地方御注文は送料不要
東京日本橋 レート 平尾贊平

京城日報

本紙定價 一箇月金七十五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
電話番號 [illegible]

…一日再開せらる…[illegible]…二十三日未明に西北西…[illegible]…に降りたり最多風向は西北西にし…平均氣温…度六に昨年に比し一度三高きも平年に比し…で北西之に次ぎ平均濕度は…[illegible]
…[illegible]…降水總量は六十四耗…平年に比し…[illegible]…に經過したり
十四年七月廿四日相場二五二五乃至二五九五 二六〇〇（千九百…[illegible]…紙幣の形にて存し白耳義諸銀行が…[illegible]…實業界不景氣の爲使用する能はざるものを國立銀行に預入れたる…方針を取り既往四箇年間金融界は殆んど常態を繼續したり但獨逸の敵國と取引する自由は勿論なし然…[illegible]
…[illegible]…獨逸帝國銀行報告に依れば貨幣及び地金一億二千八百五十八萬千二百六十磅（內金一億二千七百五十…[illegible]）萬一千磅其他證券一億五卅六…九千五十磅流通紙幣八億七千二…七十一萬五千八百磅預金五億二…[illegible]

這般戰役中に於ける我海軍の回顧一斑（二）

海軍省發表

三 印度洋方面の作戰

我海軍は南遣艦隊の一支隊（伊吹、筑摩二隻より成り伊吹艦長海軍大佐加藤寬治先任官として之を指揮す）を開戰の初頭大正三年八月二十六日新嘉坡に向け發進せしめ以て英國支那艦隊（司令長官海軍中將ジェラム之を率ゐる我海軍よりは海軍中佐山梨勝之進を此の艦隊の幕僚中に參加せしめたり）と協同作戰に從事せしめたり而して當時同艦隊は一時待機の姿勢を持し附近海面の警戒に任じたりしが九月十日敵艦エムデン印度洋東方に出現せるを以て我支隊は一方に於て索敵に努むると共に他方に於て濠洲及び新西蘭陸軍輸送船隊の護衛に任じ益勢力を增加し英國艦隊と協力して敵情に應じ策動せり然るに敵艦は爾後愈狂暴を逞うし印度洋方面の航路頗る危險に瀕せるを以て十月二十五日更に第一戰隊（司令官海軍中將栃內曾次郎）を此の方面に增遣し英國艦隊と協力して策動せしめたり茲に於て栃內司令官は常磐、八雲、伊吹、日進、筑摩、平戶、矢矧、生駒及び英國驅逐隊一隊を併せ引率する事となれり十一月九日敵艦エムデンはココス島を侵し却つて英艦シドニーの爲めに擊破せらるゝに及び此の方面に於ける作戰に一段落を劃したり而して爾後加藤先任艦長の率ゐる支隊の一艦伊吹は或は單獨に或は英艦と協同して英國濠洲陸軍輸送船の大部隊護衛の事に從ひ遠く亞丁にまで其の航跡を印せり其後第三艦隊の一戰隊（野間口司令官引率）をして此の方面に於ける任務を擔當せしむるに至れること は前項東海及び支那海方面の作戰の條下に敍述せしが如し而して野間口中將に次で海軍中將小栗孝三郎司令官たりしが大正六年二月第一特務艦隊を置かれ小栗中將其司令官に補せらる此第一特務艦隊は從來此の方面にありし戰隊の任務（即ち支那海スル海並に其附近一帶蘭領印度及び印度洋方面の作戰及び通商保護）に加ふるに喜望峰方面にまで其の擔當區域を延長し且其の後戰局の推移に應じ濠洲東岸及び新西蘭方面の作戰及び通商の保護にも任ずることとなれり昨年十二月小栗中將他に轉職し海軍中將竹下勇之を繼ぎ其の後竹下中將轉職し海軍中將千坂智次郎代つて本隊司令官に補せられ今猶其の任にあり第一特務艦隊所屬の艦艇は其の編成以來今日まで屢異動ありたれども之を概擧すれば左の如し（幷て所屬たりしもの及現に所屬たるものを混記す）

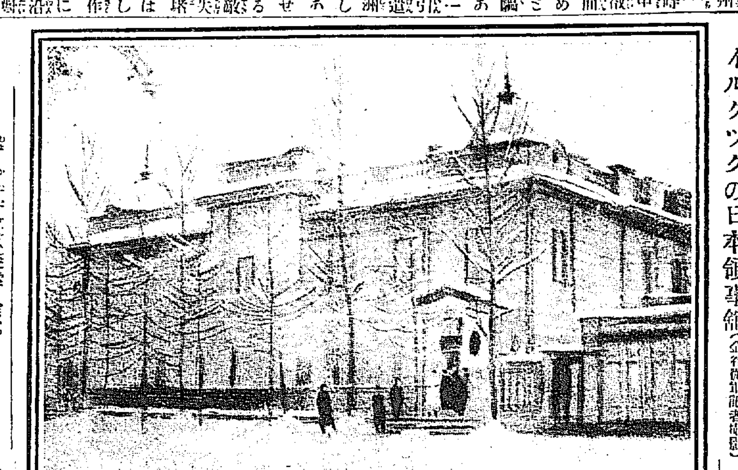
出雲、日進、利根、新高、明石、八雲、春日、矢矧、筑摩、對馬、須磨、淀、驅逐隊三隊、特務部隊

四 太平洋方面の作戰

開戰の當初敵艦隊の一部は北米及び布哇方面に在り又襲に南洋方面に遊弋せる敵艦隊の主力及び膠州灣より脫出せる敵艦の所在は詳かならず即ち我海軍は開戰と同時に第一艦隊の一戰隊司令官海軍中將山屋他人の引率する金剛、比叡、鞍馬、筑波を派遣して太平洋方面の航路保安及び索敵に任ぜしめ（其の後此の隊を第一南遣支隊と稱し鞍馬、筑波、淺間、勢手及び驅逐隊一隊より成る後多少の異動あり）たり次いで更に第一艦隊の一戰隊司令官海軍少將松村龍雄の引率する薩摩、矢矧、平戶を第二南遣支隊として南洋方面に派遣し濠洲航路の保安及び索敵の事に從はしめ（此の隊所屬艦後多少の異動あり）斯くて兩隊相策應して行動せり然るに敵は其の蹤跡を韜晦せるを以て我は先づ附近に散在する敵の諸要地を占領して其の據點を失はしめ土民は之を綏撫して其の堵に安んぜしめたり此の軍事行動は該方面に於ける保安を鞏固ならしめたるのみならず爾後に於ける作戰の進捗に資する所あると同時に襲に分散せる敵の殘艦及び智利沿海附近に於ける敵艦隊の主力に對し或は近く或は遠く制壓を與へたるものと謂ふべきなり爾後我海軍は此の方面の警戒を嚴にし航路の保安を確實にすると共に尙第三特務艦隊司令官海軍少將山路一善の引率する筑摩、平戶を南太平洋方面に配し濠洲海軍と協議して遠く該方面に亘る海面をも巡邏せしめ以て警戒及び通商保護に任ぜしめたり而して大正六年（千九百十七年）十一月に至り日米兩海軍間に太平洋に於ける協同作戰に關する協定成立するや我が海軍は其の趣旨に循由して必要なる軍艦を配備し今尙續行中なり

五 亞米利加西岸に於ける作戰

是より先墨國動亂に際し同國居留日本臣民保護の爲め我政府は軍艦派遣の必要に迫られ軍艦出雲（海軍大佐森山慶三郞艦長たり）を墨國に派遣せるは（千九百十三年）の末なり[illegible]に歐洲戰亂勃發し延いて我國[illegible]境に對し開戰の已むなきに至れるを以て茲に軍艦出雲をして米國西岸に於ける航路の保安に任ぜしむると同時に對敵行動を執らしめ尙二隻の軍艦を增派して森山先任艦長の指揮下に入れ以て作戰に從事せしめたり（此の隊を遣米支隊と稱し出雲、肥前、淺間の三隻より成る次に森山大佐は少將に進み遣米支隊司令官に補せらる）而して英國軍艦ニューキャッスル及び加奈陀海軍所屬軍艦レーンボー亦此の方面に在りて森山司令官の隷下に入りて行動せり此の間大正三年十月十五日敵艦ガイエルが運送船を率ゐて布哇ホノルル港に入るに當り當時恰も近海に行動せる我支隊の一部は同港外に急駛して嚴密に其の監視に任じ十一月七日敵艦は遂に米國官憲の爲に抑留せられたり其の後敵艦隊の主力は智利沿海に現はれ又襲に分散せる各方面の敵艦隊も概ね之と合同せるの狀況判明し太平洋上の作戰も自から新生面を開くに至れり此時に當り英國濠洲艦隊は米國西岸に遊弋せるを以て森山遣米支隊は之と協戮して策動し南下して敵を壓迫し他方面に活動しつゝある英國艦隊と相呼應せんとするの擧措を執りしが十二月九日（大正三年）敵艦隊はフォークランド島沖に於て英國艦隊の爲に擊破せられ其大部は殲滅せり我が海軍は前記遣米支隊の外に尙一戰隊の一部（常磐、千歲の二艦及び特務艦より成り戰隊司令官海軍中將栃內曾次郎之を率ゆ）を此の方面に送り敵の殘艦に備ふると同時に米國沿岸に於ける日本及び友邦の通商保護に當らしめたりしが大正四年三月十日敵の殘艦プリンツ・アイテル・フリードリッヒは北米合衆國の一港に竄入して武裝を解除し同月十四日ドレスデン亦智利沖ジャンフェルナンデスに於て英艦の爲め擊滅せられ茲に該方面に於ける作戰は一段落を告ぐるに至れり



イルクツクの日本領事館（金谷從軍記者撮影）

六 地中海方面の作戰

戰局の發展に伴ない我海軍は大正六年二月第二特務艦隊司令官海軍少將佐藤皐藏、明石驅逐隊三隊（後出雲を派遣し明石は歸朝せしむ又右の外に英國驅逐艦二隻及特務船二隻を併せ引率す）を地中海方面に派遣し英國地中海司令長官と協議し聯合國海軍と協同して作戰に從事せしめ以て今日に至れり因に記す、聯合國側佛伊兩國艦隊及び英國艦隊の一部を以て墺匈國艦隊をアドリヤチック海內に又英佛兩國艦隊を以て土耳其艦隊をダーダネルス海峽內に封鎖しつゝ一方に於ては聯合國の驅逐艦、水雷艇及び特務艦艇等を以て敵潛水艇の監視攻擊及び護送並に通商保護等に任ぜしめたるものにして此の隊の任務は特に困難且危險なるものなり

七 露領沿海州方面の行動

露國內動亂の推移に鑑み大正七年一月第三艦隊の一戰隊司令官海軍少將加藤寬治明石石見特務艦（後明石及び石見は歸朝し三笠及び肥前之に代り且つ驅逐隊一隊を加へ本年十月以降海軍少將川原袈裟太郞司令官たり）を浦潮方面に派遣し同地方に於ける我居留民の保護に任ずると同時に英米等聯合國の海軍と協力して警備し必要に應じて陸戰隊を擧げて秩序を維持し且聯合國の利益擁護に努めしめ又同方面に於ける獨墺軍の敵對企圖を防遏せしめたり而して本年八月我陸軍出兵の擧あるや第三艦隊の主力司令長官海軍中將有馬良橘直率香取鹿島司令官海軍少將田所廣海引率阿蘇千早驅逐隊二隊艦隊附屬臨時海軍派遣隊司令官海軍大佐中村正奇（附臨時海軍無線電信隊）を派遣し極東露領沿海及び附近海面を警戒し沿海州沿岸の帝國臣民を保護し同方面に於ける獨墺軍の敵對企圖を防遏すると同時に陸軍の作戰を容易ならしむる爲黑龍江系水路並に沿岸の保安其の他必要なる任務に當らしめたり以上は帝國開戰以來既往五年間戰局の推移に對應して帝國海軍の實施せる行動の概要にして約言すれば帝國の海軍は北歐及び大西洋を除き殆ど全世界の海洋に其の威武を示せるものなり之を日露戰役に於ける我海軍の行動に比すれば光彩陸離たる戰績の徵すべきもの少きも是れ實に帝國の地理的關係上我海軍が擔當せる任務の然らしめたるものと言ふべし獨墺が交戰匝年に其の近隣を攻略せるに拘らず窮苦困憊遂に休戰講和の已むなきに至りたるは畢竟するに聯合國海軍の爲に海上を制せられ其猛烈果敢なる潛水艇戰の敢行も遂に聯合國艦隊の封鎖壓迫を緩和するに足らず輸入は杜絕し國內の物資は年を逐うて窮乏し海上との交通亦全く遮斷せられて同情を求むるの由なく無援孤立の狀態に陷れるに反し海洋を管制する聯合國は敵潛航艇の爲に被れる損害多大なりしに拘らず能く此の困難に打勝つて各般の兵資補給を持續し得たる結果に外ならず約言すれば本戰爭の勝敗は海上權の掌握より生ずる當然の歸趨なりと謂ふも不可なきが如し而して帝國海軍が與國海軍と共に此の重要任務に服し貢獻する所尠からざりしを見るは欣幸に堪へざる所なり（東京日電）

史と傳說（投稿歡迎）

迎日灣の神秘

日本と朝鮮を聯結した種々の面白い神話的の傳說も多いが、之れも其一例で特に他と異つて居る點があるから茲に掲げる事にした。慶尙南道の迎日灣が、新羅時代から日本と重い關係のある事は誰も知つて居る處である、此の傳說も大昔の迎日灣の出來事で、而して此の事件から迎日と名命せられたと云ふから面白い。

新羅八代の王に阿達羅王と云ふ人があつた、其王の四年に東海の濱に迎烏郞と細烏女と云ふ夫婦が棲んで居た、或る日の事夫の迎烏郞が濱に出て藻を採りつゝ一つの大きな巖の上に登ると、見る〳〵其巖が動き出して、遂に迎烏郞を乘せたまゝ日本に行つて仕舞つた、人々は之を見て此は唯人ではないと大いに驚き恐れて王位だと尊敬した。妻君の細烏女は夫の歸つて來ないのに怪しんで濱へ尋ねて行つて見ると、巖の上に夫の脫ぎ棄た履があつた、不審に思ひつゝ登つて行くと、又た其巖が動き出して細烏女を乘せたまゝ之も亦日本へ行つて仕舞つた、其處で人々は益々驚き恐れて事の次第を阿達羅王に奏上すると、王も續いて迎烏郞を王位に、細烏女を貴妃と稱せしめた、是の時新羅の國は次第々々に暗くなつて、遂に闇の夜となつて月日が出なくなつた、愈々唯事でないと阿達羅王を始め國中の人々が戰々慄々として居ると、或學者が現はれて、月日の精は今日本に行つて居るから此の樣に天地が眞ッ暗になつて居ると王に奏上した、其處で直ちに使を日本に遣はして夫婦に早く歸つて來る樣に言はしめた、迎烏郞が使者に會つて、我々夫婦が日本に來たのは天の然らしむる處であるから、今更歸る事は出來ぬ、而し細烏女の織つた細綃があるから之れを與へると云つて綃を渡した、使者は受け取つて歸つて其事を阿達羅王に奏上して、言の如く天を祭ると、忽ち月日が現はれて初めて光明の世界に歸つた、其處で其綃を倉に藏し其倉を名けて貴妃庫と稱し、天を祭る所を名けて迎日灣となつた。之が迎日の名の起源であるが、勿論正史ではない、神話的の傳說として能く出來て居る。

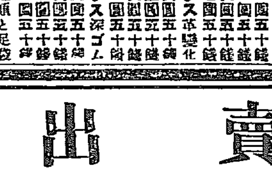
新年詞壇募集

漢詩『歲朝晴雪』（五言律或ハ五言排律）『新年雜興』（七言絕句）
短歌『朝晴雪』一人三首以內
俳句『初東風』一人三句以內
（注意）締切十二月十五日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇宛で投稿の事

商業登記公告

帝國生命保險株式會社監查役前田清則ハ大正七年拾壹月拾六日死亡シタリ
右大正七年拾壹月貳拾九日登記
株式會社第一銀行ハ大正七年拾壹月貳拾五日各新株ニ付金拾圓宛拂込マシメ一株ノ拂込額ヲ金四拾圓ト變更シタリ
主人寺尾春太郞ノ支配人榛近二ハ大正七年拾壹月拾壹日其ノ住所ヲ京城府明治町貳丁目四拾八番地ニ移轉シタリ
右大正七年拾壹月參拾日登記
株式會社明治屋監查役三上重明ノ住所ハ神戶市中山手通四丁目四拾八番地ト更正ス
右大正七年拾貳月貳日登記
株式會社漢城銀行ハ大正七年拾貳月參日東京市京橋區南傳馬町貳丁目ニ支店ヲ設置シタリ
右大正七年拾貳月參日登記
廣業株式會社取締役尹泰善ハ大正七年拾月參拾日死亡シ[illegible]
[illegible]
右大正七年拾貳月五日登記
[illegible]
右大正七年拾貳月六日登記
[illegible]
右大正七年拾貳月七日登記
京城地方法院

百圓 實收 內外
他に類のない自宅新事業
無資本同樣誰でも金儲けは樂に出來る一人一箇月責任保證
物利用の新有利新事業を公開す今までの內職とは全く異なり定收入のある教授をなし成功保證獨占的有利事業法鍼を報導す詳細ハガキで申し込めば
東京牛込通寺町 日本化工製藥社



東京三金の靴

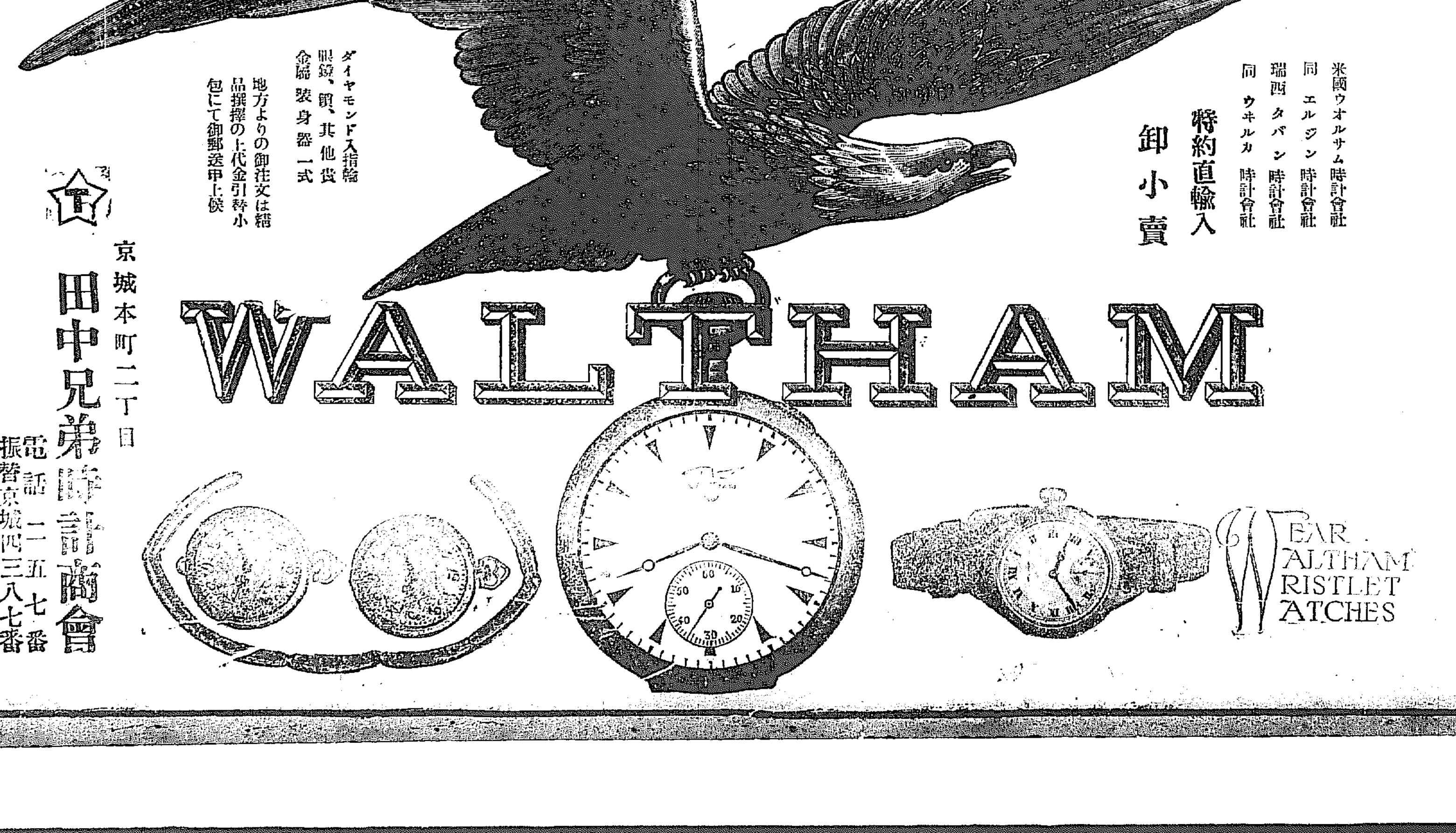
	一號	二號	三號	四號
ボックス革編上	四圓五十錢	五圓五十錢	六圓五十錢	七圓五十錢
ボックス革變化	四圓五十錢	五圓五十錢	六圓五十錢	七圓五十錢
ボックス深ゴム	五圓五十錢	六圓五十錢	七圓五十錢	八圓五十錢

御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
▼革見本寸法用紙付目錄進呈
▼御買物御希望の向は特別割引便宜御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇 振替東京一七二三〇

購買入札
一 方眼紙參萬枚外壹種
右購買ス詳細ハ大正七年十二月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正七年十二月十一日
朝鮮總督府

一 硝子板參千八百五拾四枚
右競爭入札ニ附ス詳細ハ十二月十一日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ揭示ヲ見ヨ
朝鮮總督府

歲暮大賣出し



米國ウオルサム時計會社
同 エルジン時計會社
瑞西 タバン時計會社
同 ウキルカ時計會社
特約直輸入
卸小賣
ダイヤモンド入指輪
眼鏡、鎖、其他貴金屬裝身器一式
地方よりの御注文は精品撰擇の上代金引替小包にて御郵送申上候
京城本町二丁目
田中兄弟時計商會
電話二一五七番
振替京城四三八七番

正十四金 保險付
ゴール萬年筆特價提供

▲特價金貳圓五拾錢 ▲送料九錢 代金引換五錢
品質の優秀なる事歐米品に優る共劣らず價格の底廉なる事に於て比類なし而かも構造は自動インキ吸入式にして安全インキ止の裝置あり運筆輕妙。體裁品質に於て理想的萬年筆なりと誇言して憚らず官公吏及新進事務家諸子は用ひて事務能率の增進を計るべし學生諸君は採りて以て貴重なる時間と勞力の節約に供せらるべし敢て薦む
▲特約販賣希望者は有利御相談申候
發賣元 東京市京橋區[illegible]七番地 [illegible]田商店
電話京橋一六五[illegible] 振替東京一〇〇〇七番

◇日本の聲明を求めん
聯合國會議と獨植民地問題

巴里發表所著出日本は十二日半過ぎ聯合側列强間の協議に參加すべく聯合國は獨逸に對する日本の態度に關し明確なる聲明を求む可く日本の特殊なる利益は大戰何等の障礙無く聯合國の承認する所と爲る可きも部分問題に關しては多少の曲折を經ざる可らず就中日本の占領せる植民地に於る獨逸の私有財產に關しては尙研究を要す可き問題なれば日本と均しく獨領植民地を占領しつゝある他の聯合國との間に熟議解決を見るに至る可し（東京特電）

◇伊と英佛同盟說

羅馬一新聞は言明して曰く伊太利は固く英佛と同盟を結べりと（香港電報）

◇マ大統領巴里著

チェック大統領マサリック博士は既に巴里に到着せり（倫敦電報）

◇歐洲と徵兵制度
英國チャーチル氏曰く

英國チャーチル氏曰く『平和會議に於ける英國代表者は歐洲に於ける徵兵制度の廢止を要求す可し』と又曰く『海軍當局はヘリゴランド島を英國に恢復する事は不必要なりと思惟し居れり』と（倫敦電報）

◇獨植民地保留權

英國植民大臣ウオーター、ロング氏は述て曰く英國の獨逸植民地保留の權は來る可き講和會議に於て最も强硬に主張せざる可らず（倫敦電報）

◇獨帝引渡要求反響

獨紙所報に曰く和蘭は獨帝を聯合國に引渡す事を峻拒せざる可らず之と同時に英國にて行はれたる獨帝引渡し要求の演說は伯林の人士を痛く恐怖せしめたり（アムステルダム電報）

◇獨憲法會議召集

獨逸憲法會議は來年一月一日召集さる可し（倫敦電報）

◇伯林に擾亂勃發

本月六日伯林にて重大なる擾亂勃發せり過激派は機關銃を以て首都の中心に突撃し政府軍との間に猛烈なる戰鬪あり大事件の勃發を豫期さる（東京電報）

◇前獨帝逐放と大統領
前獨帝のみを責む可きに非ず

前獨逸皇帝の進退に就ては今や殆んど世界の輿論となり一方獨逸國內の狀態は著しく民主的に傾き居れるが而かも前獨帝をして獨逸國內に居らしむるは再び軍閥派をして擡頭せしむるの機會を與ふるの虞あるを以て前獨帝を獨逸より逐放することは世界永久平和の保持上必要なりとの說あるも是に對し米國國民は最も反對しつゝあり現に大統領ウイルソン氏の如きも今回の大戰の責任たるや獨逸國民全體に在りて單に前獨帝のみを譴責するは當らずとの意見を有し講和會議の席上に於ても同氏より此點に就き提議すべしと豫測せられ居れり（東京特電）

◇ウ氏と軍國主義

ウイルソン氏は出發に先だち如何なる形式の軍國主義にも反對すとの決意を以て歐洲に赴くものなる事一般の知る所となれり（華盛頓電報）

◇陸氏外相訪問

陸徵祥氏は九日朝內田外相を訪問し長時間に亘り會談せり（東京特電）

◇浦鹽陳列館設置

浦鹽募兵協會は協會の事業として同地に商品陳列館を設置すべく目下品見本蒐集中なり（東京特電）

◇長春領事轉任

長春□□四郞氏は今回北京公使館に轉じ後任は英國大使館□□上巖溫氏に決定せ

□炭庫爆發
□名重輕傷數十名

◎朝鮮蠶業と織物業の將來

京城商業會議所の產業調査に據れば全鮮中最も將來の有利事業として奬勵せられつゝあるは蠶業にして百六十二郡中實に九十七郡を占め十三道中一道として其の飼育に適せざる所なし卽ち朝鮮の富を成すものは

▲米豆に非ず　寧ろ蠶業にあるやを思はしむ而して將來は內地と對抗し伊太利を壓するの實力を示すに至るべし蠶業に次ぎ奬勵せられつゝあるは普通農事改良の九十一郡織物業の七十三郡畜產の六十三郡繩叺雜蘆製造の五十六郡棉花栽培の四十六郡漁業の二十七郡蠶業の二十六郡製紙及び麻栽培の二十五郡とす茲に所謂普通農事改良とは米を主とし其他麥粟等穀物の耕作を稱するものにして現在產業の大部分を占むる內に

▲一千五百萬石の企　料を供するのみならず外に對して移出しつゝあり差し當り朝鮮の富は內地及び滿洲露領西細亞等に輸移出しつゝあり差し當り朝鮮の富を爲すものは實に此の普通農產物に外ならず各道が一齊に此等收穫の增加に努力しつゝあるは尤もなる次第なり就中北鮮の各道が特に豆類の耕作に着眼して種々勸業の手段を怠らざるは注意すべく他日は北海道の跡を追ふて成功の隙を登り行くを疑はざるなり織物業は綿織麻織及び絹織を總稱す朝鮮の製織能力に關しては疑ひを挾けるもの多く斯業に從事せる以外の人は恐らく意外の感あるべし

▲製織を勸誘しつゝあるは全南慶北咸北及び平北の諸道にして此等諸道は或は綿織を主とし或は麻織を主とする等の差異あると雖も各充分なる原料を有するか又は他に豐富なる原料を確實に生產し得るものにして將來朝鮮の衣服の大部分を供給し或は製品として或は原料として輸移出を爲し得べき程度に達すべきなり朝鮮の織物業の從來甚だ振はざりしは諸種の原因存するも就中原料の精選せられざると技術の幼稚なると輸移入品の競爭を受くるに歸すべきなり右の

▲原因の刈除は頗る困難なるに相違なしと雖も原料の改良及び技術の進步の如きは藉すに多少の年月を以てせば敢て不可能に非ず現在既に其の最も可能たるべき實證を擧げつゝあり輸移出品の中綿布の如きは大規模の紡織工場の存せざる以上到底其の壓迫を免るゝ能はざるものなれども支那方面より輸入しつゝある諸種の織物の如きに至りては優に之に對抗し得る望みなきに非ず朝鮮に事業を興さんとする者は宜しく眼前の利益にのみ執着せず織物の如き將來の產業に調査を進むべきなり抜すに朝鮮の織物業は

▲副業として　推奬せられつゝあるが故は企業者は工場組織を採るよりも西陣織の如き久留米絣の如き註文生產又は家庭的生產組織の方法を參酌するを有利とすべしと

◎財界前途觀測
恐怖は禁物

▲猖獗氣味　休戰條約の成立に英米各國は平和後の經濟政策として戰爭中に於ける各般の制限を漸次解除し輸出貿易の恢復進展に努むる處あるは既報の如くなるが從つて時局中の好況に狃れたる我經濟界は豫期せる處なりと雖も人氣は俄然崩れの狀態となり殊に近來一般前途に於ける英米品の殺到を懸念し聊か狼狽の氣味ありて自から相場崩すの破目に陷り綿製品は原料の崩落に綿絲先づ布標準物は一時の高値十五圓臺より本年中の高値四百三十圓臺より今の二百八十臺に墜落し綿布又粗り九圓に約四五圓方暴落し鐵材の如き未製品のダンピングに市價は底無しの慘狀を示し一時五六百圓臺にありしもの約三分の一に落ち其の他染料藥種等所謂戰時工業品に屬すべき商品は一齊瓦落を現れざりし結果此種當業者は孰れも少からざる打擊を蒙り目下整理中に屬するもの多し

▲染料破綻　就中染料商は福喜洋行の蹉跌に關係業者の金融を停止せる爲め遂に破綻者續出の崩狀を呈せり即ち淸水玄造、須藤吉藏、天狗正一、高岡太郞、川崎利五郞、今名會社林原、深田菊藏、奧安太郞外數店は支拂停止の已むなきに立ち至り夫れ〳〵善後策に就て凝議し此際債權者の整理に委するの外救濟の途なきもの、如し尤も右整理中のものには全く整理の見込み立たざるものなきにあらざるも幵は極めて少數に屬し大部分有力なるものは資產負債の均衡救濟比較的容易なるやに傳へらる、一方金融業者は此際只自衞的の態度にのみ走るに於ては救濟し得るものも結局死地に陷ることゝなり延いて財界に恐慌を惹起するなきを保し難きものあれば最も愼重に自他の經濟を注意警戒し現に染料界の破綻に於ても未だ不渡しの虞分に出ず內面に於て能ふ限り善後策を講ぜしむるの方針を執り福喜洋行の場合に於て小山三十四銀行頭取が率先して整理の衝に當るが如き最も欣ぶべき現象を示し居れば既に暴露せる染料界の破綻も其影響格別大ならずして熄むべし

▲同業救濟　更に綿絲布界にても無論多少の痛手を蒙れるものあるも斯界は前年山喜問題發生以來常に警戒的態度を持し猛突的猛進を避けて利拔に沒々たるの傾向を生じ概して資力潤澤なれば今日の處にては恐らく破綻者を生ずるが如きことなかるべし又鐵商に於ても實際整理中に屬するものあるも同業者間に於て救濟の道を講じ其波響を防ぎ居れば未だ表面に現はれず次いで造船界の如き激設の結果小造船所の窮狀に瀕せるもの少からざるも海運界の有力者は一般に前途樂觀に傾け丈け造船界に資金を融通して之を救濟し其成を奬勵するが故に未だ大なる破綻を出さず其他各種の方面に於て同樣打擊を受くるもの多きも表面に現はるゝ場合は獨り同業者のみの影響に止らず經濟界の全班に波及すべきを憂ひ關係者の自重に據り

▲救濟策を　講ずるの狀態なれば差當り財界に大いに波瀾を生ずるに至らざるべしと觀測され居れり殊に歐米品は豫期するが如く襲來も迅速に東洋市場を襲ふものに非ずとの念漸く昂じ來れる一面一時周章の結果過資節の拋出せるもの一順出盡せば自然市場は之れ等危險分子の掃蕩に因つて廓淸せらる、ものなるが故に財界の前途に對し餘りの恐怖は一の杞憂に過ぎざるべしと某氏は語る（大阪）

◇セミヨノフ討伐

當地に於てはセミヨノフ將軍に關する種々の風說流布されつゝあるが參謀はコルチャック提督より左の電報に接したりと傳へらる『セミヨノフは命令に服從せず且つは後方陣地に於て電報通信を妨害し反逆罪を犯したるを以て免職さるべくイワノフ將軍は新に總督として總ての不服從者に對し軍法實行者たるべし』と當地に於て傳ふる處によればコルチャック提督は既にセミヨノフ討伐軍を派遣し之に對しセミヨノフはカルムイコフと提携し居りて其の兩軍の衝突を防止するがため聯合軍はチタに兩軍の前進を阻止すべし』と（浦鹽特電）

◎米解禁と覺悟
坂口大藏技師談

米國戰時通商局は十一月二十七日付を以て輸出制限指定品目の削除及び改定を發表したるが

▲就中鐵材中　普通建築用材料なる條、竿、板（厚さ四分の一吋以下）管、小形の型鐵等は全然輸出を許可されたれり此等は現下我國に於て非常に不足を訴へ爲に價格の暴騰を來し居れば此際續々其輸入を見る事となる可く從つて價格の如きも追々低落し使用者の爲には大なる便利とならんも一方に價格の暴騰を的て込み內地にて製造を企て居れるものも亦少からざるを以て此等は

▲大小共打擊を受くる事なるべし又機械類の中工作機械の輸入許可さる、事となり居れるが我國に於ても戰時中各種工作機械の製造事業發達し就中旋盤の如き既に海外に輸出を見るに至り居れるも是將た米國より廉價の機械輸入せらる、事ともなれば內地製造家は多少の打擊を免れざらむか當業者の警戒を要する處ならむ

▲鋼力板不足を告げ其爲め米國より古石油罐一時盛に輸入せられしが遂に輸出禁止となり非常に困難を感じ居りしが今回是も輸出解禁せられたるを以て使用者の爲に尠からざる便宜なるべし

▲化學製藥品　最後に化學製藥品に就ても既に多大の輸出解禁せられたるものあり中には我國化學藥品工業に左程の影響を與へざるものもあれども之を手初めとして追々各種化學製品等の解禁を見るに至るべきは推測に難からざれば此際曹達加里其他工業藥品の製造家は豫め相當の警戒と覺悟を必要とすべし（東京）

◎輕鐵時刻改正

朝鮮輕便鐵道株式會社にては近來季節貨物の激增と近距離間旅客輸送の爲從來大邱永川間に於て不定期列車を運轉せるが今回左記定期列車二往復を運轉するに改正せり

▲大邱行
永川發午前六時五十分　午後二時五十分
大邱着同　九時十分　同　五時十八分

▲永川行
大邱發午前十一時十五分　午後六時五分
永川着午後二時十五分　同　八時四十六分

◎徐上將通過期

徐樹錚上將は過般栃木縣下に於ける大演習陪觀の爲め來朝中の處十二日夜下關發十三日朝釜山着直ちに北行の豫定なるが昨今京義線の運休止に就き十三日夜は京城に一泊する事となるべし

◎哈長間時刻改正

十二月八日より哈爾賓長春間列車發着時刻を左の通り改正せる旨滿鐵京城管理局へ通知ありたり

▲改正時刻（哈爾賓時間）

	哈爾賓發	長春著
郵便車	後二、一〇	後一〇、四五
混合列車	前七、四五	後五、一五
同	後七、三〇	翌前六、四〇

	長春發	哈爾賓著
郵便車	後二、〇〇	後一〇、〇〇
混合列車	前八、四〇	後五、二〇

◎地查委員會

高等土地調査委員會は十日午後一時半より總督府會議室に於て第二部會を開き午後四時散會したり

◎東鄉中將赴任

鎭海要港部司令官より海軍々令部參謀官に轉じたる海軍中將東鄉吉太郞氏は九日午後六時卅分釜山發列車にて來釜同夜赴任の途に就きたり（釜山特電）

◎兒島總長巡閱

兒島總務總長は國友警務課長、吉野保安課長、岡本高等課長及び太田高級副官の四氏を隨へ十一日より全羅南北兩道管內の各警察署を巡閱する事となり居れるが一行は十一日午前八時四十分南大門發同日群山署へ一泊の上十二日群山署及び裡里憲兵分隊の巡視及び各關を爲し十五日非番十三、十四兩日は全州各部を大々巡閱を遂げ十八日午後九時卅分南大門着列車にて歸京すべし

◎石塚總裁歸東

支那、南滿地方視察中なりし石塚東拓總裁は針貝氏を隨へ九日午前九時卅五分南大門發列車にて歸京せり（東京特電）

◎補充憲兵來鮮

補充憲兵上等兵二百七十名は十日朝內地より釜山到着夫々任地に向け出發したり（釜山）

◎司法官實務試驗終了

法官試補實務試驗二日目は十日午前九時半より總督府第二會議室に於て施行同午後五時終了せり

◎今村財務官入京

新任の駐在財務官今村次吉氏は來る十一日入京するやう報ぜしが十三日夜となりたる旨某所に通知ありたり

◎行刑敎習所卒業式

市內西小門の行刑職員敎習所にては十日午後三時より同所第一回の卒業式を擧行し國分司法部長官が來賓として臨場、各典獄、神野事務官等列席、開式と同時に卒業生三十一名に對し證書を授與し次いで國分長官の訓示あり卒業生總代訓用德市氏答辭を述べて五時半閉式したるが頗る盛大を極め式後は茶菓の饗應記念の撮影等ありしと

人事往來

▲田中卓太郞氏（松昌洋行支那部長）十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲松岡庄助氏（大連松岡自動車商會主）同上
▲金子政之助氏（朝鮮水產輸出會社技師）同上
▲香月源四郞氏（平北鑛業家）同上天眞樓へ
▲大谷新平氏（大谷組店員）同上
▲澁谷太吉氏（殖銀九州支店長）同上
▲伊賀誠一氏（殖銀大田支店長）同上
▲森脇雪夫氏　十一日朝內地へ

◎……鳥瞰錄……◎

某宗敎家曰く　ルーテルが或日友人と手を携へて發山の途中不思議にも友人ばかりか雷に撃たれて死んだ▲人間の命の不可測不可解に驚き直ちに宗敎生活に入り刻苦求道の結果彼は宗敎改革の大事業を敢行した▲カイゼルが曾て和蘭のベンチネック伯の邸に行つた時獨逸國旗と和蘭國旗とを歡迎の爲揭けてあつたが丁度嵐がして獨逸國旗丈けが裂けた事があつた▲旅と人との別こそあれ吾人ルーテルは忽ち大悟しカイゼルは遂に悟り得ずして國を滅茶にした▲カイゼルが其身からして宗敎生活に入つて居たなら世界大戰亂も起らなかつたのであらうと▲大學令の發布の結果商學部を設ける事になつたらしい道の件も茲に確定した譯である▲處が吾人は最う一步も進めて京城大學の別科を朝鮮に設けて貰ひたい事を希望する▲其理由は朝鮮は東洋史殊に支那、朝鮮、日本に關する史料が豐富であるので▲であるから文科大學の史料の別科を朝鮮に設立するのは研究者の爲めには非常に便利である▲又之れを來年の世子御結婚の記念として朝鮮在住民から醵金して其筋に願出たら何うだらう▲何も別に大した金もかゝるまい而して記念事業としては之れ以上の事はなからうと某歷史家が語つて居た

大阪期米	神戶期米	東京現物中物	下關期米
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

訂正　昨十日朝刊第二面京城本町二丁目司內聯合景品附歲末大賣し廣告景品目錄中壹等五十圓とあるは勸業債券四十圓の誤植に付訂正す

實用全書（五冊合本）
一冊で五册の用をする
▲日用書翰文　▲日用辭典　▲式辭と挨拶　▲諸願屆書式　▲草書字引（分冊販賣せず）
頗る便利　商人必携
有敎社

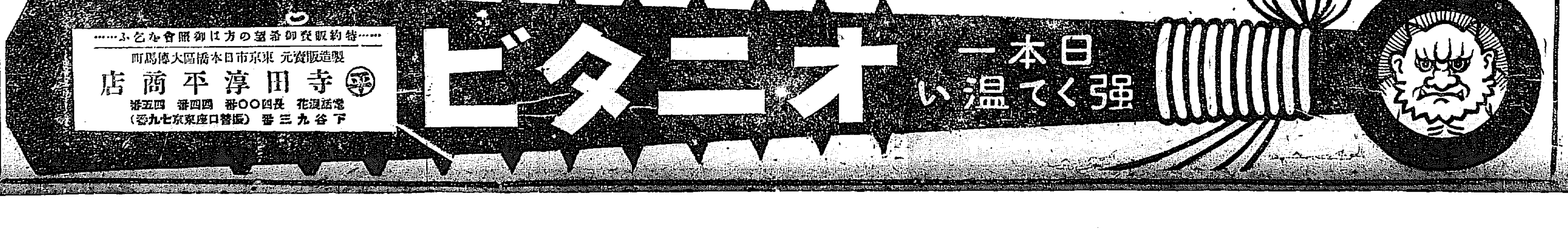
ラーヂ萬年筆（進目定錄）
到る處の文房具店にあり
宮內省御買上
各宮殿下御買上
東京市日本橋區馬喰町　文房具商屋學習院御用　酒井長次郞商店
男子用壹圓五拾錢より金十圓迄
婦人用金貳圓用錢より金拾圓迄

京城日報最新書式大全
官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書、其ノ他各官廳、市場、水產、農林、銀行、鑛業、內地共通ノ書式テ揭載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト代書業者ハ勿論官衙官吏法律家實業家敎育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ世事一般ヲ悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必ナリ
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇〇番
取次販賣所　△大阪屋號　△岩松堂　△日韓書房
京城日報代理部

朝鮮彙報　十二月號（每月一回）
大正七年　定價二十五錢　郵稅一錢五厘
口繪
○土地調査の完了に就て　伯李完用
○殖產銀行重要支店長會議に於ける演述
○朝鮮に於ける農業の前途
○文祿役の發端に就きて
○朝鮮に移植せられたるスギヒノキの生育
調査及研究
地方事情
雜錄
統計
朝鮮彙報總目錄

移轉廣告
今回左記へ移轉仕候に付此段廣告候也
移轉先　京城黃金町貳丁目八拾四番地（元營業所の一軒置西隣角）
共保生命保險會社京城出張所

銀鉛鑛　亞鉛鑛　鑛石買入
御賣捌者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城黃金町二丁目百四十八番地　商品陳列館の下
信託業　明星商會　電話二四六四番



大聲疾呼しても頽勢を挽回する由がない＝露國僧侶泣て語る

靜平な田舍にも過激思想が……

◇さらば無慈悲のロシアよ私は北海道へ行くのだ◇

九日の夕七時頃フラリと釜山の波止に立つた年老た露西亜人があつた、僧侶と覺しく身に聖フランシスコ宗派のいさゝか古ほけた黑色のガウンを羽織り右手に小型の聖書を携へ齡古稀に垂々として

◇頭髮雪を 欺く許り、柔和な風丰を具へて居たが流石長途の疲れが出たと見えて些も大儀に見受けられた。同人は語る『世は終生に近づけるとは默示錄に記された一齣であるが、今の露國の混沌たる有樣は實に其言の吾人を欺かざるを知つた

◇露國正教 の主宰者として三百年の久しき間、衆人信仰の的となつて居た、ザー・ニコラスも亡くなり、過激派の狂瀾に沒はるる處となり、配所で彼等の慘殺する處となつて國民は歸嚮する所を失ふに到つた。海底國人一般の宗教心に富めるとは全歐洲でも其比儔を見ざるほどであつて國家の生命は一にソレに依て維持せられたのである

◇由來無學 文盲なるムジツクは今日まで非常に宗教に歸依してのみ安神立命の域にあつたのであるが一たびボルスビツクの毒酒に醉うて以來といふものは徒らに舊物破壞を唱へる樣になり、政治組織を初めあらゆる社會制度を悉く顛覆せずには措かない勢ひである、宗教に對しても同樣であつて從來の信仰は全く

◇地を掃ひ 教會に參詣しない樣になつたのは固より公々然とセント、マクーの聖廳にも嘲罵を加ふるに至つたのである、こんな大勢になつては什んな高僧碩識が現はれて大聲疾呼しても到底頽勢を挽回する由がない、呼世の終りは近づけりと言ふに憚らない』と長大息したが

◇更に話頭 を一轉し『自分は、祖先の代から莫斯科の近くにあるムレースヤやといふ片田舍の教會の牧師を勤めて居たものである、何しろ邊陬のことゝて村人はいとも信仰に篤く日曜日毎に村の小やかな教會は溢れんばかりであつたが斯る僻村なる別天地にも過激思想が波及して村人も遂に

◇其思想に 感化されて了ひ教會の建物を破壞するはまだしもこの老耄たものをさへ追放せんと決議したのである、斯く財産は掠奪せられ、一命も危險に瀕したのであつたが獨身の氣安さ、去月二十五日村人の眼を掠めて漂泊の旅に上り、寒氣に脅かされ、飢餓に逼つてヤツとこの事に此處に辿り着いたのである

◇これから 自分は北海道の修道院にでも入つて日本人の慈俠心に縋り神の聖壇に餘生を捧げんとするものである』

◎溫子姫剃髮得度の式

法名『瑞珠院日淨』と授けらる

◉村雲尼公の法嗣として愈々淨土に……

御伯母君比呂子女王の淸き御生涯を慕はれ出家得度の志し堅き九條溫子姫には五月京都瑞龍寺門跡法嗣と定まりたる以來村雲御所の奥深く伯母君尼公に師事して朝夕修法勤行に怠りなかりしが愈々八日を以て

剃髮得度 の式を擧げたり 是より先き姫には紋綸子白衣の上に地赤の御召に桃色紅中地の紺濃色の袴を着け今日を限りの裝ひ美々しく先づ奥書院に於て父伯石政敬子爵に對面あり親子訣別の式を濟ませ二名の輔導（尼僧）を隨へ本堂に歩を移さるゝや寶前には供花美々しく大蠟燭を繞らし香煙縷々として搖曳せる中に御戒師尼公には紫精好の御法衣に緋紋白の

七條袈裟 を召され疊五枚の御褥に着ます 堂內には伏見宮御名代松井事務官、[illegible]武官、[illegible]を始め九條家[illegible]

戒師尼公 より得度の御表白あり次いで溫子姫には起立禮拜して戒師に向はせらるゝや尼公には嚴かなる態度にて剃髮の御法問に及ばれ姫が之に答へてかいがいしくも後向けに跪座せらるゝと共に尼公には阿闍梨が進め奉る御剃刀を取らせて靜かに兩度姫の

◇**黑髮に當** らるるや滿堂の大衆は家を捨て、僧堂に入るの偈を唱し肅然として定に入れるが如きも姫はやをら席を起つて更衣所に退場し茲にて房々と綵なす黑髮を老たる尼僧の手に惜氣もなく剃り落され哀れいみじくも藤色精好の法衣に緩れ錦の五條袈裟を懸けたる尼僧姿と代りて再び本堂に入り改めて御戒師尼公より

◇**其法名を** 瑞珠院日淨と授けられ玆に愈々俗緣を離脫し寂光淨土の淸淨界に入り更に父君伯石子より拜禮を受けられ尼公よりは木蓮折紙、念珠、中啓等を授けられて正午[illegible]式を終りたり 式に於て參列者一同より得度式終了の賀辭を受けられたるが法嗣には十日本寺東山善正寺等の御廟所へ參拜、十四五日頃には尼公御同伴東上參內並に各宮家御訪問の筈なり

◎故夏目漱石氏追悼會

九日午後四時半より長沙洞妙心寺の新築本堂に於て故夏目漱石先生の三周忌追悼會及び句會を催されたるが當日の參會者は持地長官、外十數名にして西田技師、矢野事務官、同夫人、吾孫子高等女學校長、同夫人、中村教諭、故人の肖像を安置し讀經、燒香終りて持地長官、阪出技師、後藤瑞巖老師の故人に關係深き談話等あり午後七時散會せり尚當日の追悼句左の如し

けさの霜いてふは落ちてしまひけり　西田稻堂
短日の香煙に殘る面影かな　同
室一ぱいの冬日[illegible]　中村島堂
猶であると冬ご樣や山茶咲く　松田學鷗
明星や身にしみ透る霜の聲　吾孫子樓子
淸いさゝ手にもされず霜の玉　同
氷る硯を嚙み句に生きず漱石忌　小原牛殿
一風に舊經遠く澄らはや　井草雄川
書灯袋ゝ大冊に遺ふ冬の蠅　後藤香丘
山雨雲唯青星の光り居り　黑崎友春
鮮で先生に句會の夕殘り菊　同

◎久野女史月光曲に成功す

◇三年振に母校で 七日午後二時より上野音樂學校で開かれた久野ひさ子女史のピアノ獨奏會は樂聖ベートーエンの五大奏鳴曲の演奏とて開會前から會場に押しかけた樂部の好樂家は非常なもので開會時刻にはさしもの奏樂堂に千餘人の聽衆が充ち滿ちて居るた頃鍛へに鍛へた女史の手が鍵に觸るゝと聽衆の心は一齊に其の最初の音に惹き付けられて滿場水を打つたる如く靜まり返る其の靜謐を破つて女史の指から光を吹くやうに一つ一つ曲が進んで行くピアノと女史の心とは全く融合して高く低く流麗に快速に廣く又やかに聽衆の心を取つて行く手際には一同は唯感嘆の息を凝してゐた四時半立派に奏樂を終つた女史は語る『皆樣が誠に熱心にお聽き下さつたのを心から感謝します』と當日は特に西洋婦人が多く紳士淑女青年學生男女一同は滿足の色を湛へて思ひ思ひに散會した（東京）

◎降雪あるべし

十日午後三時三十分京城測候所の報に依れば黃海北部に發生したる低氣壓は七百六十五粍以上を示し風强かるべく降雪ある模樣なり目下東方に向つて進行しつゝありて平安南北道及び黃海道は警戒を要すべしと

故鈴木校長遺族 弔慰及獎學資醵金

龍山元町小學校長鈴木志津衞氏が同校の出火に際し御眞影を安全の地に奉遷せんとし猛火を踏みて奉安室前に進み拜跪したるまゝ壯烈の最期を遂げたるは事實に於て國民思想上に大なる教訓を貽したるものにして永く後昆に傳ふべきの事蹟なりとす而も氏には老母尙堂に在り寡妻遺孤亦其の倚る所を失ふ洵に以て痛惜に堪へず爰に下記三社は遍く江湖に向つて弔慰及び遺兒獎學資金を聚め聊か氏が在天の靈を慰せんとす庶幾くは御贊同あらんことを

一、金額に制限なし
一、期限は十二月末日を以て締切とす
一、醵出者には別に領收書を出さず三社發行の新聞紙に掲載して之に代ふ
一、特に御出の各位の爲には十八銀行支店及び出張所に取扱ひを依賴せり

大正七年十二月八日

朝鮮新聞社
京城日報社
每日申報社

◎鮮人四人强盜

京畿道抱川郡郡內面下渡北里安善益（二八）同上[illegible]（三八）同上崔[illegible]（三九）同上崔錄甲の四名は午後十二時頃[illegible]飲食店鄭推昌（三）方に闖入し金百二十餘圓及び雜貨數十點計六百二十三圓餘を强奪し去りたるが四日揚州憲兵分隊の手に四人共逮捕せられたり

新年文藝 募集

課題 ▼和歌『寄年祝』▼俳句『雙六』▼川柳『船』▼俗謠『歲入』▼ものは付『明るい物は』▼一口噺『平和に關するもの』▼下句付『アラ嬉し』▼謎『講和』とかけて

制限 一人に付一題一首又は一句、但し一人數題投稿するも可し（用紙）葉書又は同型の紙（〆切）十二月十五日（注意）題毎に別用紙に認むる事、京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品（各題に付）▲一等一圓（一人）▲二等五十錢（二人）▲三等卅錢宛（三人）（但し本社代理部の相當書籍券贈呈）

◎印刷職工表彰式

京城印刷組合にては十五日午前十時より谷川町銀行集會所に於て第三回職工勤續表彰式を擧行すべく明石組合長の名を以て各方面に案內狀を發したり

◉橘氏の婚約 [illegible]

◎京城神社は市民に於て奉祀する事に決定

官幣大社建營と氏子總代會

京城に官幣大社朝鮮神社を建營する事は既報の通りなるが從來の京城神社の奉祀方に關し同神社氏子間に於て問題となれる今後の維持經營に就て十日午後五時より京城ホテルに於て氏子總代會を開きたるが列席者は殆ど京城實業家の

▽**重なる人々** を網羅し朝鮮人側總代三十三名も出席し合計八十餘名に及び蜂尾音三郎氏當番幹事長總代として座長席に就き委員長古城梅溪氏より同委員が朝鮮神社新營に伴なふ今後京城神社の奉祀方に就き屢々當局と會見して交涉を重ねたる經過を報告し夫より當番幹事側の意見を代表し田村義次郎氏より報告的演說あり之に對し古城管堂、釘本藤次郎、大垣丈夫、塚崎由太郎其他諸氏より

▽**各自の意見** を述ぶる所ありしが結局滿場一致を以て京城神社を市民の手に於て奉祀する事となし右に對して當番幹事八名（內鮮人四名づゝ）の外各區より內鮮人一名づゝの委員計六名を選びて委員となすことに決して散會したり因に今回新營の朝鮮神社は何分官幣大社なるを以て大祭の時に於ける

▽**神輿渡御等** の儀は催り成らず且つ神前結婚其他出産の時に於ける宮參り等も相叶はざる由なれば此市民の希望として京城神社を維持奉祀する事に決したる次第なりと

めでたき家庭

警務官 具然壽氏

◇總督府警務官具然壽氏が今の子夫人（三七）と結婚したのは、趙重應子と同じく內地に亡命中であるが其時期は趙重應子よりも三四年早く、實に明治三十一年の事に屬する。夫人は前田藩の舊臣酒井某の息女で女大學から拔け出たやうな人。

◇具然壽氏は四十年に朝鮮に歸ること、直ぐ警務官になり當時の泥峴街に居を構へたが、口善惡ない京童は氏が內地服を着て大道を濶步し、內地婦人を妻にして居るのを見て盛んに批難した相な、今から考へると宛然夢のやうな話である。

◇夫婦仲は羨ましい程睦まじく內地で三人、朝鮮で三人、都合六人の子寶を設けたが子供には好く緣がなかつたと見えて氣の毒にも皆夭逝した、それで夫人は前夫人（四十一年死亡）の遺兒を實子の如く熱愛して居るが、その遺忘兒と云ふのは本年京城中學校を好成績で卒業し、今や熱心に高等學校入學の準備中である。

◇具氏は今も尙和服で押し通し朝鮮服は滅多に着た事はないが、この人の結婚意見が頗る面白い、曰く『一人種改造は朝鮮に於ける問題中の問題である、そしてこの人種改造は一に教育の力に依らねばならぬが、現在の朝鮮婦人は一體に無智で子弟を教育する事が出來ない、將來內鮮人は盛んに結婚せねばならぬ――』と

◇夫人は今東京で病み癒つて居る。（寫眞は具警務官）

◇故鈴木校長弔慰及獎學資金寄贈者名

第四回

一金四圓	太平通二丁目	高橋浪之助
一金十圓	黃金町二	阿部唯次郎
	櫻井町一	麻生德太郎
	入船町一	法華津土太
	花園町	法華津碩
一金一圓	太平通一ノ二六	篠崎松江
一金一圓	大和町老人亭下	若林美樹
一金九圓	初音町二〇〇	野中健造
一金一圓	新安州鐵道社宅	田中米三郎
一金三圓	東洋拓殖會社京城支店守衞一同	
一金五圓	本町二丁目田中株式店	田中友吉
一金五圓		新田耕市
一金一圓	同	文雄
一金一圓	東大門小學校三年男	湯下兼三
一金五圓	寺町一〇寺田商會	寺田勵一郎
一金五圓	京城神社內	谷村顯尚
一金二圓	同	西田福市
一金二圓	同	堀川吉久
一金一圓	同	三村新太郎
一金五圓	永樂町一	關繁太郎
一金十圓	本町一丁目四八	橫山隆一支店
一金五圓	南米倉町理公會婦人會	
一金十圓	南山町二丁目	秋吉富太郎
一金十圓		宇佐美內務部長官
一金十圓		關屋學務局長
一金三十圓		學務局有志一同
一金五圓	黃州通三丁目	遠田久三郎
一金一圓	同	遠田リツ子
一金一圓	元町小學校添常科生徒	林光子
一金一圓	櫻井町一丁目	西川鶴次郎
一金十圓	黃三中島旅館內	立野延治
一金一圓	同	魚住獅一
一金一圓	同	秦某
一金一圓	同	佐藤昆雄
一金一圓	同	中島ヤソ
一金五圓	子爵	館重磨
一金五圓		大正親睦會
一金五圓		京城老人親
一金二十五圓		遞信局高等官有志
一金五十錢	高等普通學校	成所一生徒
一金十圓		河野竹之助
一金十圓		北島兼三
一金五圓		田中佐七郎
一金五圓		加茂榮太郎
一金五圓	蔭江通り	兒玉錄
一金壹圓	陸軍官舍	新井ミドリ
一金壹圓	同	[illegible]井國太郎
一金五圓	蔭江通り	岩本運平
一金五圓	同	村田フミ子
一金五圓	同	同 キヨ子
一金參圓	龍山	片原ふさ
一金貳圓	京城	林武之進
一金拾圓	同	古城管堂
一金貳圓	同	安藤商會

小計金貳百六十貳圓五拾錢
累計金壹千四百貳圓三十錢

演藝

▽觀音靈驗記 十二日より[illegible]に於て公開に決したる[illegible]

▼世界の平和 目下大正館[illegible]

京日案內

外交員募集

雇人 [illegible]

奉天精米所

武智弘方

年金恩給 江州屋本店

高等御料理 新世界

毛皮なめし仕立

店員募集

袴專門 山崎商店

外務主任招聘

大阪屋號

花環花束花籠 [illegible]方

佛教の新研究

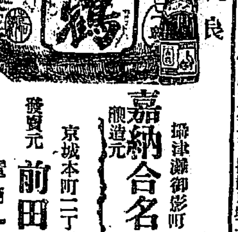
びんぼん道具

最新刊

てんかん 病とこのヒキツケ 腦神經衰弱で困難の方永年[illegible] 名古屋市中區南小川町

ストーブ各種建築金物 八角鋼、黑鉛用金網、其鐵物製作 ◇地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候 商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候 直輸入商 京城本町一丁目 佐野彦藏商店 電話一六三番、振替京城二一〇番

大日本優等淸酒 白鶴



品質純良 衞生無害 攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社 京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

入院隨意 京城太平町二丁目七十三（太平町大通り） 片山內科醫院 電話一九五一番 片山信夫

百貨星 りん病 ばい毒 帝國醫科大學 分析料百圓進呈 にせ物 大阪有田 にせ物と好商 南大門外 大阪有田 京城龍山等各地に僞物あり御注意 大阪三休橋 大阪 ドラッグ

絶對品質本位

味噌界の最大權威 壹日の製產高參千貫

みやこ味噌

製造販賣高滿鮮第一位

特約店 滿洲 德田商店 平壤 平井商店 奉天 伊勢作支店 哈爾賓 丸平洋行支店 太田 堀米商店 元山 小野文吉 安東縣 渡邊支店 長春 丸平洋行 大連 伊勢作本店 鐵嶺 土車商店 新義州 渡邊支店 奉天 小杉洋行 長春 林洋行 撫順 大和屋洋行

製造元 京城 高島屋

EUKIRIN

神經衰弱特效 ユーキリン

本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス。

本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ

粉末 二五瓦入 金七拾五錢　錠劑 百錠入り金八拾錢

說明書アリ進呈ス＝各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町 三共株式會社

大阪三品特電 十日後場 先限 三〇〇、一〇

大阪株式特電 十日前場 東洋紡 一八三、四〇

仁川期米 十日後場 大阪前場强硬の機先各地高入電にて[illegible]

[illegible]末充滿して瓦斯を發生し大氣に觸れ爆發せるものなりと（東京特電）

母と子 四十八

北島春石作 森田久畫

情の袖 (二)

『あゝ、これだから子供は育つのだね。』と獨言ちた志保子は、何ういふ事もなしに、瞼の裏の熱くなるのを覺わた。

『あ！御免なさい……お母さん！』

ふいに喧しい悲鳴が起つたので、志保子が慌て、その枕元へ膝行寄ると、愛らしい片ゑくぼは消えて、幸枝は今にも泣出しさうに口元を歪めてゐた。

お母さん御免なさいと謝るのか推察すれば、先刻の心たのしさは消えて、大方猫々しき母に嘖なまれし夢にでも魘はれたのであらう。

あの苦しさうな顔付は……搖り起さうかと思ふ間に、幸枝は再びすや〳〵と眠りに就いた。

それに吻と胸を撫下し、志保子が元の座へ戻つた時、險い階子段をグシり〳〵と軋ませて寄間から待兼ねた森泉直樹が上つて來た

志保子が心忙しく立迎へる時、直樹は襖を啓けて顔を出す。

澁谷の奥へ閑居して以來、明けても暮ても讀書三昧直樹は月のうちに數へるほどしか市内へ降りないが、稀に出かけると羽目を外して飲み廻り、必ず大醉して戻るのが例だが、今夜は更に酒の氣がせぬのみか、極めて眞面目な顔をしてゐた、その代り、その脇下には大きなボール箱が抱へられてゐた。

『よくお出で下さいました。』と、自分の敷いてゐた座蒲團を裏返して薦めながら、志保子は愛想よく笑ひかけた『さぞお寒かつたでございませう。』

『今朝出かけた際は、初冬とは思はれぬ菊日和の長閑さであつたが夕傘から寒いカラ風が吹き出し、老人にはなか〳〵徹へたよ。』

『さあ此方へ。』と、箱火鉢の埋み火を搔出して『唯今、熱いお茶でもおいれ致しませう。』

『もう構うてくれるな。』と靜かに幸枝の寢顔を覗き込み『はつは、……もう寢てしまうたな。』

『はい、つい今し方まで起きて居りまして、どんなにおぢい樣のお歸宿をお待ち申して居りましたでせう。』

『さうか。それ、お約束の土産はこへおくぞ。』

『何ですか、大層あの大きな箱でございますね。』

『うむ日比谷で觀菊した戻りがけぶら〳〵銀座へ出て來ると、ふつと眼についたで、一番大きな人形を買つて來た。』

『まあ、飛んだ御散財をおかけ申しまして……明朝幸枝が目を覺しましたらば、どんなに喜ぶでございませう。』

『はつは……人間ほど妙なものは無いのう。』と、直樹はやう〳〵座に就いた後『俺は子供を持つた覺わがないかして、ついぞおもちや屋の前へ立止まつた事もないが、近來は自分ながら不思議なほど目につく！これから思うて見ると我子とならば可愛いものぢやらうなあ。』

『それはもう……子を持つて知る親の恩かと申しまして、自分の生命にも換られなく思ひます。』

『さうぢやらう！いや、さうなくては、志保子さんもこの苦勞には堪へられまい。』

『……はい。』

『それほど可愛い子ぢや！何うかして、この先親子を泣別れさせ度くないと思ふが……いや、實際困つた事が湧上つたものぢや。』

『え！』と、叔父の嘆聲を聞き洩らさず、志保子は容易ならぬ面色した『何と仰せになりますか。』

『貴女に打明けたらば心配するであらうが……』と云うて、默つて居らる譯にもゆかぬ。ふとした事より實は笑うて濟まされぬ事件を聞き込んで戻つたのぢや。』

『何ういふ事件でございますか、是非お打明け下さいますやうに。』

志保子は膝のすゝむのも覺わなかつた。

◎防寒用の襯衣

襯衣型が流行 値段は割合高い

▲品から申しますと眞毛の莫大小を始め羊の絨毛等が主なるものでして色は白、鼠、茶、駱駝色と云つた處です今冬流行の新傾向はどちらかと申せば本式の襯衣型が大部を占めて居る樣でして

▲大抵は伴色若くは茶色など然も極めて色彩の濃厚な襟が付けてあります之等は勿論從來あり來つたものではありますが兎角和服勝な冬の服裝を卓越て斯うまで盛んに調製せられ初めたのです

▲シエーターやヂヤケツはヤハリ鼠や茶色に支配されて居ます、價格は純羊毛で四圓から八圓まで駱駝毛で十圓から二十五圓迄で綿手に下りますと一圓五十錢を最下に三圓位迄上りますそしてヂヤケツ類は六七圓から十二三圓まででです

古本賣買 京城明治町通り 御報參上 野村書店 電話二〇五〇

新刊紹介

▲皇國の興廢（佐藤中將著） 佐藤鐵次郎中將の所説を山田同海氏が編輯せし著物なり内外の大勢を說いて（一）濠洲に於ける列強の長短（二）米國の帝國主義（三）戰國の氣風を發成せよ（四）東亞大陸の危機（五）軍國編制の崩壞（六）右に軍國主義左に產業主義（七）海外發展の前途（八）支那開發と軍事教育（九）國家總動員（十）工業動員（十一）空戰術（十二）陸海軍全主義（十三）國防（十四）旅順開城の回顧（十五）一隊の規律（十六）人物統御法（十七）武藥教育（十八）軍部教育と軍事教育（十九）尾崎行雄氏の平和論を讀む（二十）軍事怪物等を論じたるものなり（一圓五十錢東京牛込神樂町一東亞堂）

大勉強 大安賣 京城本町二丁目 岩見呉服店 電話三三三番

▲千代田（一一） 十八錢東京神田區本町三の五千代田吟社

▲極東時報（七九） 十八錢東京麴町區內幸町一の五極東時報社

▲國技（一一） 二十錢東京本所區一の一七相撲通信社

▲陽明（八二） 十錢大阪東成郡天王寺村二〇八六大阪陽明學會

▲新方十二ヶ月（十月の卷） 二十二錢東京牛込區白銀町二〇育英書院

▲教育時論（一一） 十二錢東京麴町區飯田町四開發社

▲朝鮮遞信協會雜誌（一一） 十二錢京城光化門通遞信局內朝鮮遞信協會

▲日本小國民新聞（一〇） 五錢東京赤坂區青山九小國民修養會

▲住宅（一一） 十錢東京芝區櫻平町一住宅改良社

▲帝國農會報（一一） 十二錢東京麴町區溜池町一帝國農會

▲長春貿易協會月報（一九） 三十錢長春貿易協會

▲日本の關門（三八） 二十五錢下關市東南部町一四七號鐵社出版部

▲懷中日記（鐵道時報局發行） 氣の利きたる古代更紗の表紙にて極めて優雅なり懷中日記なり從來の此學上程便宜は極めて詳密にして當業者に取り便利此上なく又其他の便覽も一段に新進せらるべき稀袖珍しあり定價不明、東京々橋采女町鐵道時報局

▲防長の教育（荒川清澄著） 防長に於ける八百年前の教育より說き起して毛利を公滿中の教育及び現代の教育狀態を叙述せる者なり（特製一圓十錢、並製九十錢山口縣山口町防長新聞社）

▲中江藤樹（原田嶽著） 修養史傳の第十八編にして中江藤樹の傳記學說逸事等を收錄したる有益なる書なり（四十錢東京牛込神樂町一の一東亞堂）

▲ホトトギス（二二） 近詠（虛子）片眼の漁夫（月舟）大阪（小寺ノ蝸牛）野分の墓（たけし）舞姫（日下部太郎）あとの浪（としを）由舎の肥（行田）風邪（六朝）奠祭等の記（拓川）子規子と漱石先生の墓（荷風）俳諧展覽會（芥川龍之介）是尾吟行記（三氏）その他俳句入門、出角研究、俳談、句作、消息（三十錢東京市ヶ谷谷町一二一其發行所）

▲ファン（極東選手號） 野球界の趣味ある記事を滿載す、野球醫學問題あり（二十五錢、神田區美土代町一四二〇横濱野球會）

▲海宮と開運（森友道著） 海宮術は個性を綜出して幸運を得んとする極めて合理的の運命開拓法なり此書は森醫學士が懇切に海宮術の奧義を說明したるものにて全篇七十數ヶ項に別ちて記述したる有益なる修身書なり（一圓二十錢、東京牛込神樂町一の一東亞堂）

▲演藝畫報（五の一二） 美しき綿繪寫眞數十葉を以て卷頭を飾り『文冊』には演劇其他諸藝の研究、脚本、評傳、評論芝居の型、劇界の消息等を豐富に掲ぐ五十錢、東京京橋南佐柄木町七演藝俱樂部）

▲中外新論（一二） 小松緑氏の本誌に寄せる雜誌にて有益なる大家の所論及び通俗な主としたる記事豐富なり（三十錢東京芝愛宕下二ノ二其社）

京

新劇 木曾の黑猫

大活劇 八卷 大秘密 新派悲劇 つゆ草 於 黃金館

十二月十一日限 京日 讀者優待券 （一枚二人共通）

劇 一等 三十錢 二等 二十錢 三等 十錢 引

普通 一等 五十錢 二等 三十錢 三等 十五錢

京城日報社

八木田博士考案 島田博士御鑑査

アナタの胃病にはマーゲン

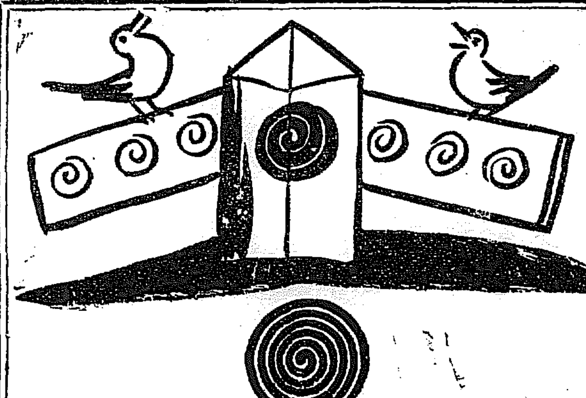
強胃消化錠

本劑の特色 二博士確證の本

マーゲンは從來の胃病藥と異り其原因は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃腸を治し逐ると胃を強壯にす

大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

（迎歡口大） 黃金町長橋町入口 電話一九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱



嚴密の二字を標柱として……

旦に夕に原料製法に注意された

ウヅマキ石鹼

上下を通じて日ご倶に 世評の高まるは 理の當然です

東京 天野磯五郎

氣分の清々する ライオン齒磨 何時使つても

▽大正八年 當用日記定價の半額にて提供

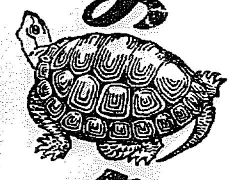
あらゆる日記類の長所美点を綜合して、最も斬新なる形式に、最も豐富なる內容（前附奧附で二百頁以上の立派なエンサイクロペヂア）を盛りたる高尚便利な布表紙金字本・定價壹圓五十錢

―本舖及び市内著名書店にて發賣―

東京市本所區外手町 ライオン齒磨本舖 小林商店 支店 ライオン齒磨……

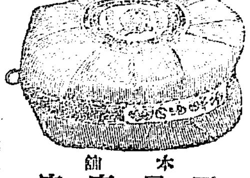
(1019-7)

歲末年始の御贈答用品は包裝の



龜の子煎餅(かめのこせんべい)

をお求め願い致し升



本舖 西尾商店

象況 調査

たる際十二月夜半霧及び廿九日十時七百七十四粍二に上り同最底…

寒を示し昨年に比し零米四強きも平年に比し却つて零米四弱く…其月中最大速度は低氣壓一過後…

溫度三低く其全月變化は七日頃よりも寒氣加はり八日には本冬初め雪十一日も亦從つて多き方にあり更し十五粍餘の過剩を示し降水日數に日照時數並に快晴日數は平年に…

◎白國經濟狀況

在倫敦森財務官より高橋大藏大臣宛來電左の如し（三日京）

▲白國…（至二五三〇）戰爭開始當時白耳義國立銀行の動產中約一千萬磅の金準備國外に移されたるも向獨逸はものに係る獨逸が之を沒收したるは帝國銀行の紙幣發行高其法定極度に達せんとするを救はんとするに今や白耳義金融界は殆んど戰前の狀態に復し現金の供給にも差支ざる如し向ブラッセル株式取引…萬千七百磅）大藏省證券…八百十八萬千二三百五十磅他手形…紙幣三萬六千五十磅割引手形…五千七百十二萬千四百磅…六千六百十一萬二千磅なり